

神戸市外国語大学学術情報センター 活動報告

2012 年度



神戸市外国語大学学術情報センター

統計表中の一般的な記号用法は次のとおり

「--」 …………… 該当数字なし

「0」 …………… 該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「…」 …………… 不明、不詳、不定及び算出不能の数

活動状況

図書館部門

1. 2012 年度 主な出来事	2
2. 蔵書数・受入数	3
1) 図書.....	3
2) 雑誌・新聞.....	4
3) 視聴覚資料.....	4
3. 図書館サービス	5
1) 開館状況	5
2) 入館者数統計	6
3) 貸出統計	7
4) レファレンス	8
5) 相互協力	8
6) OPAC(蔵書検索)利用統計	8
7) データベース利用統計	9
8) 視聴覚ブース利用状況.....	10
4. 図書館活動	11
1) ゼミ対象図書館ガイダンスの実施.....	11
2) 選書ツアー.....	11
3) ビブリオバトルの開催.....	11
4) 初年次教育の実施	12
5) Re ユースの実施	12
6) 図書データ遡及の実施.....	12
7) 館報・Newsletter の発行	13
8) 展示.....	14
5. 機関リポジトリについて.....	15
1) 2012 年度の実施状況	15
2) コンテンツ種別内訳	15
3) アクセス統計	15

6. 地域貢献.....	16
1) 市民利用制度実施状況.....	16
2) トライやるウィークの受入れ.....	17
7. 来館者アンケートの実施について.....	17
8. 学術情報部会.....	17
1) 2012 年度委員.....	17
2) 開催記録.....	18
9. その他.....	19
1) 研修等参加記録.....	19
2) 学外会議等参加記録.....	20
資料	
来館者アンケート質問用紙.....	21
集計結果.....	23

情報メディア部門

1. 2012年度の主な出来事	30
2. キャンパスネットワークシステム	31
1) ネットワークサービス利用者数	31
2) ネットワークサービス登録状況	31
3) コンピュータ管理	32
3. 情報メディア教育施設	33
1) 情報メディア教室	33
2) 利用者支援サービス	34
3) 学生利用 PC 台数の推移	35
4) 自習 PC 利用統計	36
5) 情報メディア教育環境の整備状況	37
6) PC セットアップ等作業件数	38
4. 初年次教育	39
1) 新入生対象コンピュータ実習の実施	39
5. 情報化推進 WG 開催状況	40
6. その他	42
1) 研修等参加記録	42
2) 国立情報学研究所 学術認証フェデレーション 構築・運用方法について	43

参考

1) 組織・事務分掌 2012年4月1日現在	44
2) 蔵書・コレクション	45
3) 図書館施設・設備	46
4) 関係諸規程	47
神戸市外国語大学学術情報センター規程	47
公立大学法人神戸市外国語大学図書管理規程	48
神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程	50
神戸市外国語大学情報メディア教育施設利用規程	52
神戸市外国語大学学術情報部会規程	54
公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針	55
神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則	57
神戸市外国語大学学術情報センター図書館文献複写要項	62
神戸市外国語大学学術情報センター市民利用制度実施要綱	64
5) 沿革	65
6) センター長(図書館長)	67

図書館部門
活動状況

1. 2012 年度 主な出来事

2012 年

- 4 月 2 日 (月) 入退館ゲート更新
- 5 月 1 日 (火) 図書館システム運用保守契約更新
- 5 月 7 日 (月) Newsletter No.1 発行 (2012 年度 No.4 まで発行)
- 5 月 8 日 (火) JAIRO Cloud の導入
- 6 月 5 日 (火) 中国語遡及入力開始
- 6 月 5 日 (火)・6 日 (水) トライやる受入 (太山寺中学)
- 6 月 6 日 (水) 学生選書ツアー実施
- 7 月 4 日 (水) センター長茶話会・ミニビブリオバトル開催
- 8 月 1 日 (水) CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」(領域 1) 受託開始
- 8 月 10 日 (金) 「子ども参観日」職場見学実施
- 8 月 17 日 (金) リポジトリ試験公開開始
- 10 月 3 日 (水)～28 日 (水) 初年次教育 (図書館のかしこい使い方) 実施
- 11 月 1 日 (木)～30 日 (金) R eユース (図書のリ利用) 実施 【写真①】
- 11 月 6 日 (火) 来館者アンケート調査実施
- 11 月 6 日 (火)・7 日 (水) トライやる受入 (伊川谷・竜が台中学)
- 11 月 21 日 (水) ビブリオバトル開催
- 12 月 14 日 (金) 杉山ゼミビブリオバトル実施 【写真②】
- 12 月 28 日 (金)・29 日 (土) 図書館システムクライアント機器更新

2013 年

- 1 月 9 日 (水)～2 月 8 日 (金) 第 2 回 R eユース (図書のリ利用) 実施
- 1 月 16 日 (水) ビブリオバトル開催
- 3 月 8 日 (金) 書庫 3 階の製本新聞を本部棟地下“新聞保管庫”に移動【写真③】



① R eユース実施



② ビブリオバトル開催



③ 新聞保管庫の新設

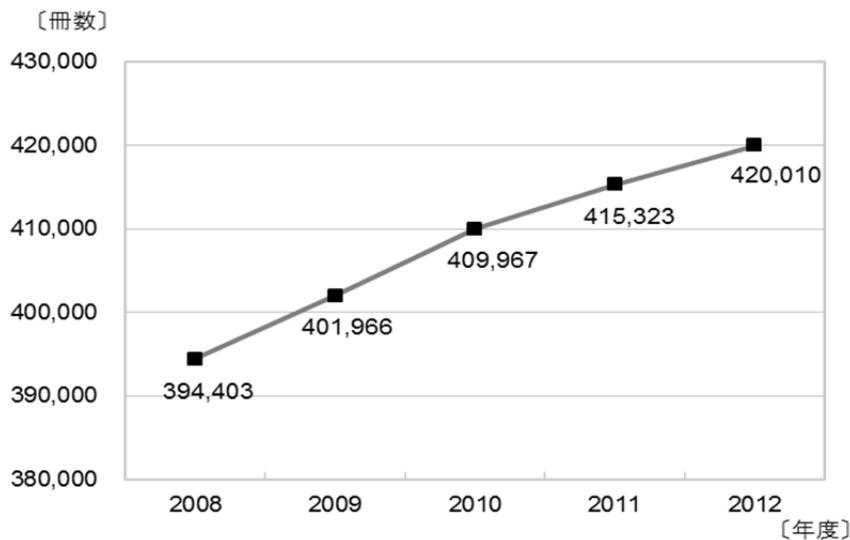
2. 蔵書数・受入数

1) 図書

2012 年度蔵書構成

(単位：冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
2008 年度	61,512	14,944	29,795	72,246	5,713	4,428	7,597	7,350	33,381	72,092	85,345	394,403
2009 年度	62,005	15,098	30,147	73,928	5,769	4,520	7,708	7,483	34,395	72,747	88,166	401,966
2010 年度	62,574	15,289	30,541	75,723	5,851	4,644	7,842	7,600	35,095	73,330	91,478	409,967
2011 年度	63,391	15,526	31,112	76,435	5,980	4,796	8,002	7,760	36,056	73,978	92,287	415,323
	和書	12,420	19,568	54,541	4,857	3,820	5,621	5,065	16,916	32,286	37,706	234,477
2012 年度	洋書	3,248	11,936	22,334	1,156	1,067	2,471	2,870	19,899	42,319	55,938	185,533
	計	63,972	15,668	31,504	76,875	6,013	8,092	7,935	36,815	74,605	93,644	420,010



開架冊数

2010 年度	85,676 冊
2011 年度	88,252 冊
2012 年度	90,496 冊

受入・除却数

(単位：冊)

	和書			洋書			合計	除却数
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計		
2010 年度	5,453	724	6,177	1,881	155	2,036	8,213	212
2011 年度	5,209	732	5,941	1,619	476	2,095	8,036	2,680
2012 年度	4,450	767	5,217	1,699	120	1,819	7,036	2,349

※2011 年度：購入は一般図書と専用図書の合計。寄贈は保管転換を含む。

2) 雑誌・新聞

雑誌

(単位：種)

日本語雑誌	外国語雑誌							総計
	英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他	計	
3,873	676	90	578	48	106	12	1,510	5,383

※ 電子ジャーナルは含めず。

受入数

(単位：種)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
	2010 年度	224	1,227	1,451	336	4	
2011 年度	226	1,233	1,459	337	5	342	1,801
2012 年度	226	1,240	1,466	339	6	245	1,811

新聞

(単位：紙)

	日本語新聞	外国語新聞							総計
		英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他	計	
所蔵	14	18	6	15	5	3	4	51	65
2012 受入	11	7	1	5	1	1	0	15	26

※ オンラインデータベース収録紙は含めず。

2009 年 1 月より新聞データベースを導入

Newspaper Direct Library PressDisplay: 48 言語、1700 紙以上の各国新聞が 60 日間閲覧可能

3) 視聴覚資料

所蔵状況

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
2010 年度	1,903	727	984	53	129	279	117	2,358	6,550
2011 年度	1,903	727	984	53	129	324	117	2,779	7,016
2012 年度	1,903	727	984	53	129	342	117	3,257	7,512

※MP3 は CD に含む

2012 年度 受入・除却数

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
受入	0	0	0	0	0	29	0	478	507
除却	0	0	0	0	0	11	0	0	11

3. 図書館サービス

1) 開館状況

(単位：日)

開館時間帯	9:00— 13:00	9:00— 16:30	9:00— 21:10	9:00— 21:20	9:00— 21:30	10:00— 18:00	17:00— 21:10	開館日数	休館日数	市民開放 日数*
	開館時間数	4:00	7:30	12:10	12:20	12:30	8:00			
4月		4	11	3		3	1	22	8	7
5月			17	3		3	1	24	7	3
6月	1		14	5		5	1	26	4	5
7月			5	1	15	4		25	6	4
8月		5	7	1	4	1		18	13	14
9月		5	10	3		1	1	20	10	20
10月			17	4		4	1	26	5	9
11月			16	4		3	1	24	6	3
12月			14	4		3	1	22	9	22
1月			4	1	12	2		19	12	2
2月		11			6	2		19	9	13
3月		14						14	17	14
計(日)	1	39	115	29	37	31	7	259	106	116

【休館日】 日曜日・祝日、休業期間中の土曜日、年末年始、蔵書点検期間(8月・3月)

【気象警報による短縮・休館】6月19日(13:00閉館)

*2011年度は9月26日から10月7日の10日間を利用可能日として拡充実施した。

*2012年度は12月3日から12月17日の11日間を利用可能日として拡充実施した。

開館時間

授業期間	月—木	9:00—21:10
	金	9:00—21:20
	土	10:00—18:00
休業期間	月—金	9:00—16:30

※ 毎月第3木曜日は館内整理日のため、17:00まで閉館。

※ 試験対応期間(試験前と試験期間中)の平日には、21:30まで開館。

各フロア利用時間

期間	曜日	第一閲覧室	第2閲覧室	視聴覚ブース
授業期	月—木	9:00—21:10		9:00—20:55
	金	9:00—21:20		9:00—21:05
	土	10:00—18:00	閉室	9:00—17:45 ※第一閲覧室のみ
休業期	月—金	9:00—16:30	閉室	9:00—16:15 ※第一閲覧室のみ

2) 入館者数統計

入館者数

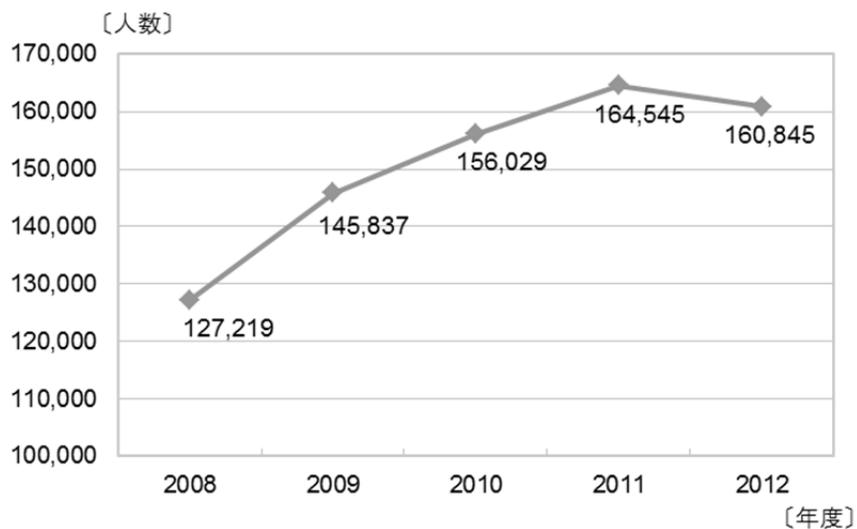
(単位：人)

	2012年					2013年					計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
学部生	11,292	13,543	13,968	19,498	5,571	6,657	14,588	14,322	10,481	15,089	6,558	1,523	133,090
大学院生	989	1,092	1,012	1,170	415	509	933	751	602	723	313	166	8,675
教職員	1,322	1,459	1,453	1,480	881	962	1,410	1,346	1,147	1,168	899	708	14,235
卒業生	257	259	267	261	144	181	242	212	200	173	122	67	2,385
市民	101	111	195	191	346	340	220	134	280	86	252	204	2,460
計	13,961	16,464	16,895	22,600	7,357	8,649	17,393	16,765	12,710	17,239	8,144	2,668	160,845

1日平均の入館者数

(単位：人)

	2012年					2013年					通年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
全利用者	635	686	650	904	409	432	669	699	578	907	429	191	621
市民(内数)	14	37	39	48	25	17	24	45	13	43	19	15	21



入館者数推移

3) 貸出統計

貸出冊数

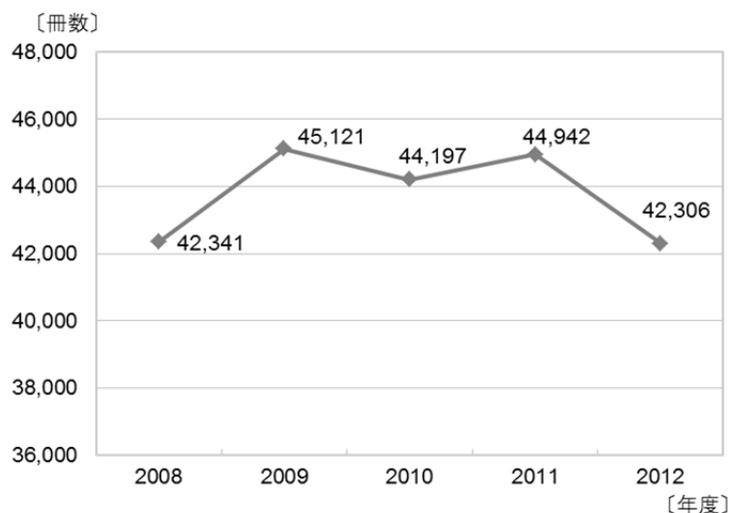
(単位：冊)

	2012年						2013年						計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	2,261	2,691	2,959	4,438	1,567	1,579	2,982	3,194	3,218	3,129	1,377	369	29,764
大学院生	458	379	396	457	187	236	358	274	288	272	235	95	3,635
教職員	493	465	362	381	277	239	438	400	351	363	305	143	4,217
卒業生	136	172	172	194	82	76	132	107	105	114	81	12	1,383
市民	230	205	355	286	307	312	343	283	346	259	375	6	3,307
計	3,578	3,912	4,244	5,756	2,420	2,442	4,253	4,258	4,308	4,137	2,373	625	42,306

1日平均の貸出冊数

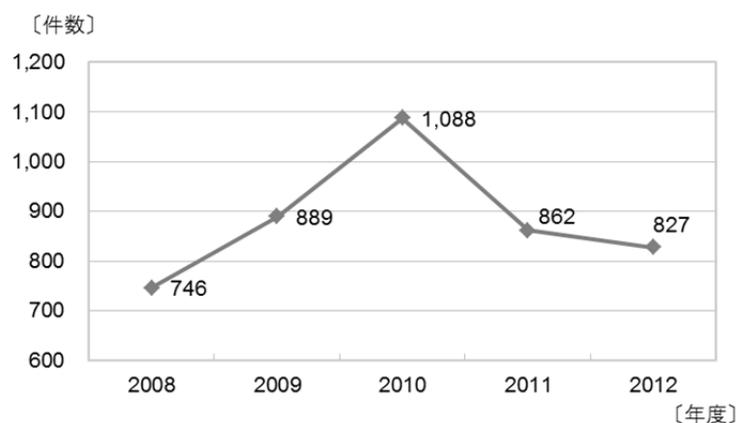
(単位：冊)

	2012年						2013年						通年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全利用者	163	163	163	230	134	122	164	177	196	218	125	45	163
市民(内数)	33	68	71	72	22	16	38	94	16	130	29	0	29



貸出冊数の推移

年度	貸出者総数	貸出冊数
2008	20,169	42,341
2009	21,900	45,121
2010	22,649	44,197
2011	23,402	44,942
2012	22,013	42,306



4) レファレンス

年度	件数
2011	3,217
2012	2,788

5) 相互協力

図書貸借 (単位:冊)					文献複写 (単位:冊)			
年度	種別	借受	計	貸出	計	年度	取寄	提供
2011	大学	294	628	363	1,042	2011	466	418
	公共*	334		679		2012	332	339
2012	大学	223	419	355	1,237			
	公共	196		882				

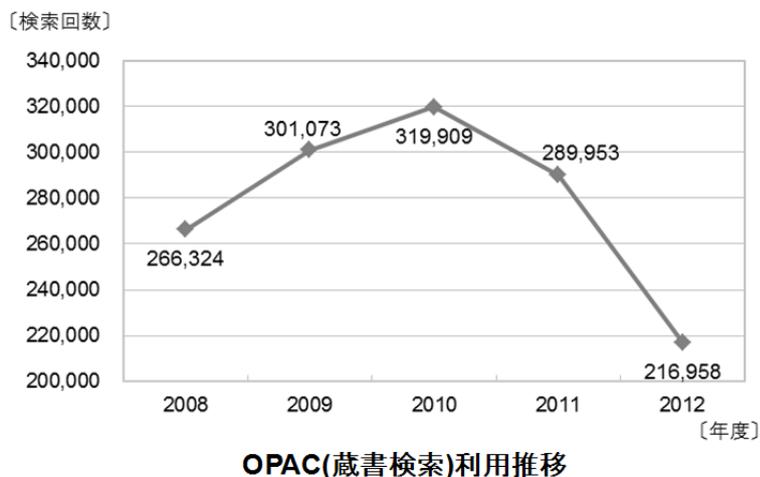
* 公共：2001年度から行っている神戸市立図書館との相互貸借

神戸研究学園都市大学図書館相互利用*

年度	借受	貸出
2011	80	90
2012	36	96

* 神戸研究学園都市大学交流推進協議会の加盟大学が地域内の大学図書館の相互協力のため
1998年から開始した直接貸出制度

6) OPAC(蔵書検索)利用統計



7) データベース利用統計

提供データベース一覧

種別	収録分野	言語	名称	略称	統計算出基準		
論文検索	全分野	日	CiNii Articles	CiNii A	COUNTER		
			Magazineplus	MagPlus	—		
		英	Adademic Search Premier	ASP	COUNTER		
			JSTOR	JSTOR	COUNTER		
		中	CNKI	CNKI	独自		
			言語学	英	Linguistics and Language Behavior Abstracts	LLBA	COUNTER
				英	MLA International Bibliography	MLA	COUNTER
		翻訳学	英	Translation Studies Bibliography	TSB	—	
		文学	英	Literature Online	Lion	COUNTER	
	辞書・事典	百科事典	日	Japan Knowledge プラス	JK	独自	
英				Encyclopaedia Britannica Online	EB	独自	
		言語	英	Oxford English Dictionary Online	OED	COUNTER	
		翻訳	英	Handbook of Translation Studies Online	HTS	—	
		人物	英	Oxford Dictionary of National Biography Online	ODNB	COUNTER	
		国際公法	英	Max Planck Encyclopedia of Public International Law	MPEPIL	COUNTER	
新聞記事	国内		聞蔵Ⅱビジュアル	聞蔵Ⅱ	独自		
			日経テレコン 21	日経	独自		
	海外		NewspaperDirect Library PressDisplay	NDLPD	独自		
電子ブック		英	Cambridge Books Online	CBO	COUNTER		
			Gale Virtual Reference Library	GVRL	COUNTER		
コーパス		英	British National Corpus	BNC	—		
			WordbanksOnline	Wordbanks	—		

利用統計

(単位：検索回数)

	CiNii A	ASP	JSTOR	CNKI	LLBA	MLA	Lion	JK	EB	OED	ODNB	MPEPIL
2008年度	7,015	3,068	—	—	118	244	—	—	145	1,172	213	—
2009年度	15,887	3,542	545	—	203	323	—	3,069	310	780	321	—
2010年度	20,220	4,527	770	—	333	393	—	2,349	338	669	183	—
2011年度	18,651	3,883	773	—	367	536	—	2,701	456	423	153	17
2012年度	16,955	4,576	1,918	1,577	732	881	718	2,013	555	1,569	81	105

電子ブック

(単位：タイトル)

年度	提供タイトル数
2010	77
2011	158
2012	234

電子ジャーナル

(単位：タイトル)

年度	提供タイトル数
2010	2,252
2011	2,506
2012	4,769

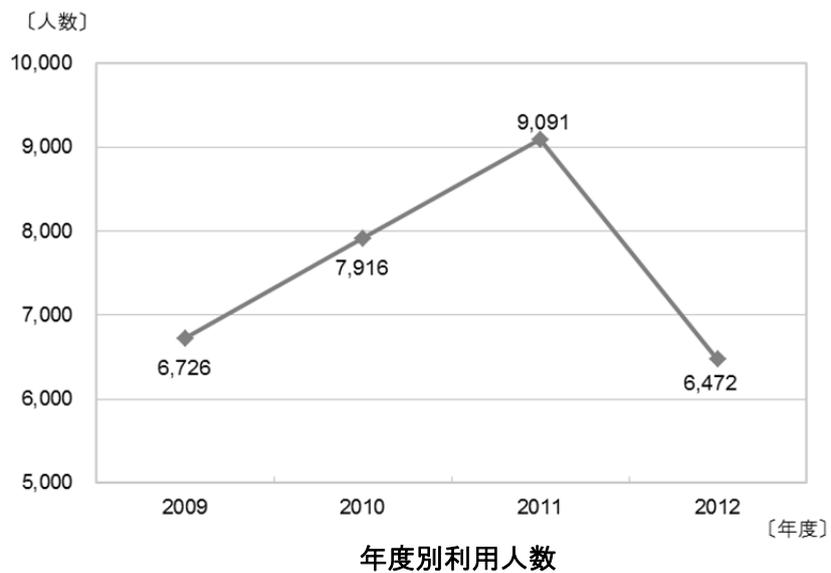
8) 視聴覚ブース利用状況

視聴覚ブース利用

(単位：点)

年度	ビデオ	LD	CD	DVD	衛星 放送他	持込	計
2009	270	506	26	5,450	143	331	6,726
2010	209	441	49	6,571	163	483	7,916
2011	175	451	62	7,757	136	510	9,091
2012	179	368	34	5,293	108	490	6,472

※2009年度から図書館で提供開始。



4. 図書館活動

1) ゼミ対象図書館ガイダンスの実施

27名の教員より申し込みがあり、31コマのガイダンスを実施した。内容・指導体制とも前年度を踏襲し、6つのメニューからなるアラカルト方式で、ゼミのテーマに沿った情報探索指導を行った。

学生を対象にしたアンケートでは、昨年度同様、ガイダンスの有用性、図書館利用意欲、説明の分かりやすさとも肯定的な評価が多数を占めた。また、メニューのなかでは、データベースの利用方法、雑誌論文の探し方、卒業論文の探し方への評価が高かった。

実施状況

年度	教員数	実施回数	学生数
2009	23	29	261
2010	24	28	225
2011	25	30	247
2012	27	31	217

2) 選書ツアー

6月6日、三宮センター街にあるジュンク堂書店で第2回選書ツアーを実施した。10名の応募があり、8名が参加した。購入した図書は126冊(226,000円)。選定された図書の内容は、日本文芸のほか、歴史、技術、美術など幅広い分野となった。実施後に行ったアンケート結果からは、また参加したいかを尋ねる設問に全員が「参加したい」と回答する等好評だったことが読みとれた。

2012年7月から2013年3月の間、館内にコーナーを設けて選定図書の展示・貸出を行った。また、7月4日には参加者が集まり、展示用のPOPを作成しつつ、学術情報センター長との懇談会を催した。

応募・参加者数

学科	英米	ロシア	中国	イスパニア	国際関係	Ⅱ部英米	合計
応募数	2	0	3	0	3	2	10
参加者数	1	0	2	0	3	2	8

3) ビブリオバトルの開催

杉山ゼミとの共催で1回、図書館の単独主催で2回、ビブリオバトル*を開催した。前者では、杉山ゼミの学生が発表し、後者では、公募に応じた学生と図書館職員が発表者となった。また、終了後に交流会を開催し(11月・1月)、本を介して懇親を深めた。

開催日	会場	参加者数 (発表者数)	チャンプ本
11月21日(水)	センター長室	15(6)	クラフト・エヴィング商会著『クラウド・コレクター：雲をつかむような話』(筑摩書房, 1998.11)
12月14日(金)*	ロビー	21(5)	角田光代、穂村弘著『異性』(河出書房新社, 2012.4)
1月16日(水)	ロビー	16(8)	ヘンリー・D・ソロー著、佐渡谷重信訳『森の生活』(講談社, 1991.3)

※ 杉山ゼミとの共催

* ビブリオバトルは、全国で広まっている新しい形式の読書会。公式ルールは、発表者が順番に一人5分間その本の魅力について紹介し、各2~3分のディスカッションを経て、参加者全員による投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

4) 初年次教育の実施

今年度の新規事業として、初年次教育を実施した。10月から11月にかけて、初年次教育「図書館の、かしこい使い方。レポート作成のための図書館活用術」として下記の日程で講義を行った。

内容の概要は下記の通り。

- ・ 図書の上質な探し方
蔵書検索の方法を具体的な例を挙げて説明
- ・ インターネットからの予約
貸出中の図書の予約、返却期限延長の方法を説明
- ・ 図書館にないときの入手方法
購入希望制度、他図書館からの取り寄せについて紹介
- ・ レポートに使えるデータベース
JapanKnowledge+(百科事典)、聞蔵II ビジュアル / 日経テレコン 21(新聞記事検索)、CiNii Articles(論文検索)などレポート作成に利用できるデータベースを紹介
- ・ 検索演習
- ・ 図書館見学(閲覧室および書庫)

このほか、インターネット上の情報と図書館で契約しているデータベースとの違い、取り扱い方などについても言及した。参加者は全体で11名と少数に止まった。

実施日時	
10月3日(水)	3限
10月10日(水)	3限
10月17日(水)	3限
10月17日(水)	4限
10月24日(水)	3限
10月31日(水)	3限
10月31日(水)	4限
11月7日(水)	4限
11月14日(水)	3限
11月14日(水)	4限
11月21日(水)	3限
11月22日(木)	7限
11月28日(水)	5限

5) Reユースの実施

今年度新規事業のひとつとして、Reユースを実施した。これは学習・研究支援を目的として、図書館所蔵本等のうち重複や改版などの理由で廃棄予定となった資料を、図書館利用者(学生、教職員、卒業生対象。市民利用者は除く)に無償で譲渡するものである。具体的にはReユースコーナーを図書館ロビーに設け、自由に持ち帰っていただいた。11月と1月の2回実施し、好評であった。

実施概要

	第1回 2012年11月	第2回 2013年1月	合計
用意した冊数	865	951	1,816
Reユース冊数	678	878	1,556
残冊数	187	73	260
Reユース率	約78%	約92%	約86%

6) 図書データ遡及の実施

2012年5月から10月にかけて、書庫2階に配架している「現代中国語図書」扱いの資料について、書誌・所蔵情報の遡及入力事業を行った。委託事業とし、受注先から派遣された3名が当館内にて実作業に当たった結果、新たに計22,858冊について、書誌・所蔵情報を登録することができた。なお、NACSIS-CAT上に書誌がなかった約900冊については、当館の司書職員が書誌を新規作成した。その中には、基礎資料

はもちろんのこと、国内では本学のみが所蔵しているものや、北京図書館(中国国家図書館)や台湾の国家図書館でも所蔵していないものなど、貴重な資料も数多く含まれている。

本事業の完了により、2011年度までに登録済みであった約7,000冊と合わせて、合計約30,000冊の「現代中国語図書」資料の書誌・所蔵情報を検索できることとなった。

事業前後で貸出冊数を比較すると、直近の3年度(09～11年度)が平均で約80冊、当年度(12年度)が148冊だった。事業終了後半年のみの比較ではあるが、80%増と明らかな増加傾向であり、研究・教育への支援機能の拡充を図ることができた。

7) 館報・Newsletterの発行

センターだより「AD ALTIORA SEMPER」第36号、第37号を発行した。各号の内容は以下のとおり。



第36号 (2012年7月2日発行)

- オーストリア国立図書館、四半世紀の去来 (山之内克子教授)
- 著書紹介 3・11 で現実化した「成長の限界」が日本を再生する (中嶋圭介講師)
- シリーズわたしのしごと 図書館システム編：便利な道具(ツール)をつくる (堀口尚之)
- 2012年度初年次教育 コンピュータを便利に使おう (池田まさ子)
- 第2回選書ツアーを開催しました
- 図書館日誌



第37号 (2012年11月30日発行)

- 図書館とナショナリズム - ネルー記念博物館/図書館 (インド) - (大石高志准教授)
- 著書紹介 イギリス史研究の魅力に導く二つの入り口 (指昭博教授)
- シリーズわたしのしごと 学術情報リポジトリ編：外大の研究成果を世界に公開 (谷本千栄)
- 2012年度初年次教育 「図書館の、かっこいい使い方。レポート作成のための図書館活用術」実施について (橋本真里)
- 現代中国語図書約3万冊が、OPACで検索できるようになりました
- 図書館日誌

また、より身近で速報性の高い広報媒体として図書館からのお知らせを中心とした『外大図書館Newsletter』を発行した。2012年度は試行期間とし、以下の4号を発行した。

- ・ No.1 SPRING (2012年5月7日発行)
- ・ No.2 SUMMER (2012年7月25日発行)
- ・ No.3 AUTUMN (2012年10月29日発行)
- ・ No.4 WINTER (2012年1月31日発行)



8) 展示

所蔵資料の展示として、①企画展示（閲覧室入口正面）と②テーマ展示「司書のおすすめ D (Display)」(カウンター前)の2種の展示を行った。

①企画展示

期間	テーマ
2012年4月～6月	多読はじめませんか?(英語・スペイン語多読コーナー新設)
7月～2013年3月	選書ツアー 2012
10月～2013年3月	莫言氏ノーベル文学賞受賞記念
12月～2013年3月	ビブリオバトル 2012

②テーマ展示「司書のおすすめ D(Display)」

期間	テーマ
第 16 回 2012年4～5月	全学科共通 大学生活応援します！
	英米学科 英語を磨く！
	ロシア学科 ロシア語を磨く！
	中国学科 中国語を磨く！
	イスパニア学科 スペイン語を磨く！
	国際関係学科 ダイバーシティを理解する
第 17 回 2012年6～7月	全学科共通 「書く」と「話す」を磨くー論文とプレゼンテーションの本ー
	英米学科 ABC・オブ・ブリテン
	ロシア学科 日本と露西亜 そのつながりを探るー日露交流関係史ー
	中国学科 現代中国ー16分野の入門書ー
	イスパニア学科 追悼 カルロス・フエンテス
	国際関係学科 スポーツから世界をみる
第 18 回 2012年10～11月	全学科共通 「はたらく」を考える
	英米学科 アメリカ合衆国大統領選挙
	ロシア学科 地方都市からみるロシア
	中国学科 日中国交正常化 40 周年 1972.9.29～ ー友好から互恵へー
	イスパニア学科 スペイン黄金世紀の絵画
	国際関係学科 日本の領土問題
第 19 回 2012年12月～ 2013年3月	全学科共通 「はたらく」を考える (継続)
	英米学科 ディケンズ生誕 200 年
	ロシア学科 ロシアの民俗文化、あれこれ
	中国学科 香港返還 15 周年 1997.7.1
	イスパニア学科 Japón ースペイン語で読む日本ー
	国際関係学科 自由貿易について考える

5. 機関リポジトリについて

本学のリポジトリ構築については、中期計画（2007 から 2012 年）の「情報化社会への対応」の取り組みの1つとして、学術情報センターが中心となって検討を行ってきた。

2012 年度は NII が提供する JAIRO Cloud によるシステム構築に着手し、8 月に試験公開を行った。

紀要の電子化は、CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」（領域 1）を受託するとともに、『外大論叢』を発行する外国学研究会からの寄附金を得て実施した。

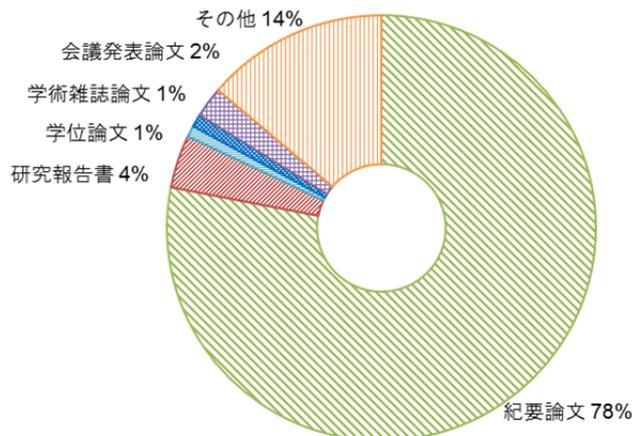
1) 2012 年度の実施状況

2012 年 4 月 1 日	「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」施行
5 月 8 日	NII の共用リポジトリ JAIRO Cloud を導入
8 月 1 日	CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」（領域 1）受託開始
8 月 17 日	試験公開の実施
2013 年 3 月 12 日	NII 他のプロバイダにデータ提供開始

2) コンテンツ種別内訳

	紀要論文	研究報告書	学位論文	学術雑誌論文	会議発表資料	その他*	合計
メタデータ	737	38	8	9	22	130	944
本文あり	499	11	3	9	19	130	671

*その他：紀要の表紙など



3) アクセス統計

閲覧回数	5,503
ダウンロード回数	5,592

6. 地域貢献

1) 市民利用制度実施状況

1. 制度の概要

図書館の利用を通じて市民の生涯学習に貢献するために、2007年12月より実施している。

授業期間中の土曜日、授業のない時期は平日に市民利用を行っている。18歳以上、市在住・在勤であれば年間500円の登録料で閲覧・複写・貸出（5冊・2週間）が利用可能である。

2. 利用可能日の拡充

地域貢献をさらにすすめるため、通常は利用できない授業期の平日のうち、期間を決めて試行的に市民の利用ができるようにした。

2013年度は9月のほか12月3日～17日の11日間を利用可能日とした。今後、学術情報部会でさらに拡充についての検討をすすめていく。

3. 利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
2009年度	96	149	1,133	2,248
2010年度	112	161	1,710	2,359
2011年度	110	176	1,958	2,690
2012年度	116	179	2,460	3,307

年代別登録状況

(単位：人)

年代別	18～	20代	30代	40代	50代	60代～	計
2009年度	0	20	34	33	19	43	149
2010年度	0	22	24	34	39	42	161
2011年度	1	30	25	35	27	58	176
2012年度	0	15	28	37	39	60	179

居住地別登録状況

(単位：人)

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	市外	計
2009年度	5	5	5	2	2	2	19	51	55	3	149
2010年度	5	4	7	2	6	4	31	45	55	2	161
2011年度	5	3	5	2	6	4	25	61	59	6	176
2012年度	3	1	4	3	0	3	28	49	82	6	179

2) トライやるウィークの受入れ

兵庫県内中学2年生の職場体験である“トライやる・ウィーク”の学生の受入を行った。本学での5日間の体験期間のうち、2日間を図書館で体験してもらった。

内容としては、カウンター業務をはじめ、図書の整理、排架、検索、リスト作成などの図書館業務全般。

	期間	人数
太山寺中学校	6月5日(火)～6月6日(水)	2
竜が台中学校	11月6日(火)～11月7日(水)	2
伊川谷中学校	11月6日(火)～11月7日(水)	1

7. 来館者アンケートの実施について

11月6日(火)に来館者アンケートを実施した。

配布：582枚 回収428枚（回収率73.5%）

利用者の満足度を知り、今後のサービス改善を目的として、平日の開館時間中に実施した。予想より満足度は高く、静かに勉強する空間としての利用がうかがわれた。開館時間の延長や日祝開館、所蔵資料への希望などが多く寄せられた。

（アンケート集計結果は資料編に掲載）

8. 学術情報部会

・学術情報部会は、学術情報センターに関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項

1) 2012年度委員

部会長	益岡 隆志	学術情報センター長
委員	三野宮春子	講師 英米学科
委員	井上 幸和	教授 ロシア学科
委員	櫻井 次郎	准教授 中国学科
委員	川口 正通	講師 イスパニア学科
委員	丹生谷貴志	教授 国際関係学科
委員	友田 康信	准教授 法経商コース
委員	芝 勝徳	教授 総合文化コース
委員	喜多 泰志	学術情報センターグループ長

2) 開催記録

第1回 2012年4月25日(水) 13:30~14:30

1. 2011年度図書館活動報告
 2. 2012年度活動計画について
 3. 初年次教育について
- [その他] 1) 学科別視聴覚資料の選定について
2) CSI リポジトリコンテンツ作成補助金の申請について
3) 選書ツアー実施

第2回 2012年6月13日(水) 13:30~14:30

- [審議] 1) 図書館除却本の取り扱いについて~リサイクル図書の設置~
2) リポジトリについて
① 進捗状況
② 論文等の許諾手続きについて
- [報告] 1) 2011年度業務実績報告書について
2) 選書ツアーについて
3) 現代中国語資料、遡及作業開始について

第3回 2012年10月3日(水) 13:30~14:30

- [審議] 1) 購読雑誌の見直しについて
① 規購入・中止等の検討
② 雑誌の電子ジャーナルへの切り替えについて
2) 来館者アンケートの実施について
3) 図書リサイクル事業=Reユースについて
- [報告] 1) 初年次教育について(実施内容)
2) リポジトリ試験公開について

第4回 2012年11月28日(水) 13:30~14:30

- [審議] 1) 第二期中期計画について
学習支援環境の整備とロビー改修
2) 専用図書の点検について
- [報告] 1) 11/6実施アンケート結果速報
2) 初年次教育実施状況
3) Reユース実施報告
4) ビブリオバトル実施報告 11/21

第5回 2013年1月30日(水) 15:00~16:00

- [審議] 1) 2012年度自己点検評価について
2) 2013年度計画について
3) 新聞保存タイトル、年限のみなおし
本部棟地下への製本新聞の移動
4) 2013年度初年時教育実施計画について
5) 市民利用制度12月拡充実施の状況について
6) リポジトリ登録状況と本公開について

9. その他

1) 研修等参加記録

学術情報班

日程	用務・研修名	主催	会場
6/12～ 6/13	平成 23 年度 CSI 委託事業報告交流会 (コンテンツ系)	国立情報学研究所	国立情報学研究所
6/22	第 8 回学術情報ソリューションセミナー2012 in 大阪	(株)サンメディア	ブリーゼタワー 小ホール
6/28～ 6/29	大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修 「初任者研修」	大学図書館近畿イニシアティブ 運営委員会	大阪大学附属図書館
7/18～ 7/20	NACISIS-CAT/ILL ワークショップ	国立情報学研究所	国際高等 セミナーハウス
7/26	2012 年データベース・ワークショップ	(株)紀伊国屋書店他	ラマダホテル大阪
7/31	2012 年富士通大学図書館向け ソリューションセミナー	富士通(株)	富士通関西システム ラボラトリ
8/22	加盟大学合同 SD 研修	神戸研究学園都市大学 交流推進協議会	ユニティ 2 階 セミナー室 3
8/22～ 8/23	第 4 回 SPARC Japan	国立情報学研究所	国立情報学研究所
9/5～ 9/7	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	京都大学
9/7	公立大学協会図書館協議会研修会「求められる 大学図書館像-教育支援・学習支援-」	公立大学協会図書館協議会	京都平安ホテル
9/21	DRF 地域ワークショップ	DRF デジタルリポジトリ連合	神戸松蔭女子学院大学
9/26～ 9/28	機関リポジトリ中堅担当者研修	DRF デジタルリポジトリ連合	国立婦人会館
10/23	兵庫県大学図書館協議会研究会 「図書館員と教員、学生との連携を考える」	兵庫県大学図書館協議会	関西学院大学
10/24～ 10/26	学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	大阪大学附属図書館
11/21～ 11/22	第 14 回図書館総合展・ 学術情報オープンサミット 2012	図書館総合展運営委員会	パシフィコ横浜
12/18	京都大学図書館機構講演会	京都大学図書館機構	京都大学附属図書館
2/22	兵庫県大学図書館協議会研修会 「大学図書館は電子書籍をどう取り扱うか」	兵庫県大学図書館協議会	関西学院大学

2) 学外会議等参加記録

兵庫県大学図書館協議会

7/24 第 111 回総会（神戸学院大学）

公立大学協会図書館協議会

6/7 第 22 回事務長会（秋田ビューホテル）

6/8 第 44 回総会（秋田ビューホテル）

公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会

2/27 総会（大阪市立大学）

講演会（大阪市立大学）

神戸研究学園都市大学交流推進協議会・図書館部会

7/23 第 34 回会議（UNITY）

資料

来館者アンケート質問用紙

2012-11-6 実施

神戸市外国語大学 学術情報センター（図書館）利用者アンケート 2012.11

みなさまにとってよりよい図書館にするためのアンケートです。ぜひ、ご協力ください。

■学術情報センター（図書館）の利用についてお尋ねします。

Q1. 図書館に入館される日数を教えてください。（○は1つだけ）

1. ほとんど毎日	2. 週 1～2日	3. 月 1～2日
4. 年に数日以下	5. 今回が始めて	

Q2. 図書館をよく利用される時間帯を教えてください。（○は1つだけ）

1. 午前中（9:00-12:00）	2. 昼休み（12:00-12:45）
3. 午後（12:45-17:30）	4. 夜間前半（17:30-19:30）
5. 夜間後半（19:30-21:30）	6. 決まっていない

Q3. 図書館のどこを利用されることが多いですか。場所を教えてください。（○はいくつでも）

1. ロビーにあるソファ	2. ロビーにある1人用机
3. ロビーにある3人掛けの長い折りたたみ机	4. パソコン
5. 視聴覚ブース	6. 閲覧室の机
7. 閲覧室の2階にある1人用机	8. 書庫にある1人用机（教員・院生のみが利用可能な個室）

Q4. 次のうち、図書館にはどんな目的で来られていますか。（○はいくつでも）

1. 図書を読んだり、借りたりするため
2. 雑誌・新聞を読むため
3. データベース・電子ジャーナルを使うため
4. 視聴覚（DVD, CD, LD, ビデオ, 海外放送）を見たり、聞いたりするため
5. 図書館内の机で学習するため
6. 図書館内にあるパソコン利用のため
7. ILL, 相互利用のため。（他大学から図書を借りたり、雑誌の複写物を取り寄せたりするため）
8. 休憩や息抜き、時間つぶしのため
9. そのほか（ <input type="text"/> ）

Q5. 上の質問（Q4）の1～9のうち、あなたが最も重視されている目的はどれか教えてください。（1つだけ）

番

Q6. その最も重視されている目的は達成されていますか。（○は1つだけ）

1. 達成している	2. だいたい達成されている	3. あまり達成されていない	4. 達成されていない
-----------	----------------	----------------	-------------

Q7. 次のうち、図書館で充実して欲しいと思う空間はどんなものですか。（○はいくつでも）

1. 静かに集中して学習できる空間
2. 2人以上のグループで討議しながら学習できる空間
3. 語学学習・プレゼン練習・視聴覚の視聴など、音の出せる空間
4. 長時間くつろげる居心地のよい空間
5. パソコンが十分にあり、インターネットや資料作成ソフトが充実した空間
6. そのほか（ <input type="text"/> ）

Q8. 上の質問（Q7）の1～6のうち、あなたが最も充実して欲しい空間はどれか教えてください。（1つだけ）

番

Q9. 図書館で「学生選書ツアー」※を行っているのをご存知でしたか。（○は1つだけ）

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

※学生の皆さんが直接書店に向き、図書館に備え付けてほしい本を選ぶという企画

裏に続きます

■学術情報センター（図書館）についておたずねします。

Q10. 図書館に対する満足度を教えてください。（○は行ごとに1つだけ）

		満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	利用していない
A	図書館は快適で居心地がよいですか	1	2	3	4	5	6
B	机・椅子は使いやすいですか	1	2	3	4	5	6
C	グループで利用できる場所が整っていますか	1	2	3	4	5	6
D	必要な機能を備えたパソコンがありますか	1	2	3	4	5	6
E	学習、研究に集中できますか	1	2	3	4	5	6
F	図書はそろっていますか	1	2	3	4	5	6
G	専門言語の資料はそろっていますか	1	2	3	4	5	6
H	雑誌はそろっていますか	1	2	3	4	5	6
I	データベースはそろっていますか	1	2	3	4	5	6
J	開館日は適切で利用しやすいですか	1	2	3	4	5	6
K	開館時間は適切で利用しやすいですか	1	2	3	4	5	6
L	貸出冊数、貸出期間が適切ですか	1	2	3	4	5	6
M	図書・複写物を学内・学外を問わず取り寄せることができますか	1	2	3	4	5	6
N	必要な資料を自力で見つけられるようになっていますか	1	2	3	4	5	6
O	WEBから図書館サービスを利用できるようになっていますか	1	2	3	4	5	6
P	図書館内の案内や掲示はわかりやすいですか	1	2	3	4	5	6
Q	図書館のホームページは利用しやすいですか	1	2	3	4	5	6
R	図書館が行うガイダンスは充実していますか	1	2	3	4	5	6
S	窓口・図書館内での職員の対応はよいですか	1	2	3	4	5	6
T	職員は質問に答えられる知識を持っていましたか	1	2	3	4	5	6
U	図書館全般について満足されていますか	1	2	3	4	5	

■最後にあなた自身についておたずねします。

Q11. 次のうちから、あなたの所属を教えてください。

1. 英米	2. ロシア	3. 中国	4. スペイン
5. 国際関係	6. II部英米	7. 大学院	8. 研究生
9. 科目等履修生	10. 卒業生	11. 教職員	
12. そのほか（			）

【Q11. で 1～6 を選ばれた方におたずねします】

Q11-2. あなたの学年を教えてください。

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生	4. 4年生
--------	--------	--------	--------

自由記入欄：そのほか図書館へのご意見があればお願いいたします。

カウンター・出口ゲートの回収箱か、図書館職員へお渡しください。ご協力ありがとうございました。

集計結果

7. 来館者アンケートの実施について

実施日: 2012年11月6日(火曜日) 回収は2012年11月9日(金)まで
 時間帯: 9:00~21:10

延べ入館者数: 915名
 純入館者数: 622名
 内訳(教職員以外) 574名
 (教職員) 48名
 印刷枚数 1,500枚
 配布枚数 ① 582枚
 回収枚数 ② 428枚
 回収率 ②÷① 73.5%

無回答は集計から省いてある(Q10を除く)

Q1. 図書館に入館される日数を教えてください。

2. 週1~2日	244	57.1%
1. ほとんど毎日	156	36.5%
3. 月1~2日	23	5.4%
4. 年に数日以下	3	0.7%
5. 今回が始めて	1	0.2%
合計	427	100.0%

Q2. 図書館をよく利用される時間帯を教えてください。

3. 午後(12:45-17:30)	247	58.9%
6. 決まっていない	89	21.2%
4. 夜間前半(17:30-19:30)	31	7.4%
1. 午前中(9:00-12:00)	19	4.5%
2. 昼休み(12:00-12:45)	17	4.1%
5. 夜間後半(19:30-21:30)	16	3.8%
合計	419	100.0%

Q3. 図書館のどこを利用されることが多いですか。場所を教えてください。(複数回答)

6. 閲覧室の机	273	33.9%
4. パソコン	203	25.2%
7. 閲覧室の2階にある1人用机	103	12.8%
5. 視聴覚ブース	68	8.4%
2. ロビーにある1人用机	60	7.5%
3. ロビーにある3人掛けの長い折りたたみ机	47	5.8%
1. ロビーにあるソファ	45	5.6%
8. 書庫にある1人用机(教員・院生のみが利用可能な個室)	6	0.7%
合計	805	100.0%

Q4. 次のうち、図書館にはどんな目的で来られていますか。(複数回答)

5. 図書館内の机で学習するため	341	26.6%
1. 図書を讀んだり、借りたりするため	316	24.6%
6. 図書館内にあるパソコン利用のため	229	17.9%
4. 視聴覚(DVD, CD, LD, ビデオ, 海外放送)を見たり、聞いたりするため	134	10.5%
8. 休憩や息抜き、時間つぶしのため	127	9.9%
2. 雑誌・新聞を讀むため	85	6.6%
3. データベース・電子ジャーナルを使うため	40	3.1%
9. そのほか	6	0.5%
7. ILL, 相互利用のため。(他大学から図書を借りたり、雑誌の複写物を取り寄せたりするため)	4	0.3%
合計	1,282	100.0%

Q5. 上の質問(Q4)の1.~9.のうち、あなたが最も重視されている目的はどれか教えてください。

5. 図書館内の机で学習するため	188	44.3%
1. 図書を読んだり、借りたりするため	153	36.1%
6. 図書館内にあるパソコン利用のため	36	8.5%
8. 休憩や息抜き、時間つぶしのため	15	3.5%
4. 視聴覚(DVD, CD, LD, ビデオ, 海外放送)を見たり、聞いたりするため	12	2.8%
2. 雑誌・新聞を読むため	11	2.6%
9. そのほか	5	1.2%
3. データベース・電子ジャーナルを使うため	3	0.7%
7. ILL, 相互利用のため。(他大学から図書を借りたり、雑誌の複写物を取り寄せたりするため)	1	0.2%
合計	424	100.0%

Q6. その最も重視されている目的は達成されていますか。

2. だいたい達成されている	226	53.2%
1. 達成している	181	42.6%
3. あまり達成されていない	17	4.0%
4. 達成されていない	1	0.2%
合計	425	100.0%

Q7. 次のうち、図書館で充実して欲しいと思う空間はどんなものですか。(複数回答)

1. 静かに集中して学習できる空間	218	25.2%
5. パソコンが十分にあり、インターネットや資料作成ソフトが充実した空間	195	22.6%
4. 長時間くつろげる居心地のよい空間	170	19.7%
3. 語学学習・プレゼン練習・視聴覚の視聴など、音の出せる空間	136	15.7%
2. 2人以上のグループで討議しながら学習できる空間	120	13.9%
6. そのほか	25	2.9%
合計	864	100.0%

Q8. 上の質問(Q7)の1.~6.のうち、あなたが最も充実して欲しい空間はどれか教えてください。

1. 静かに集中して学習できる空間	146	35.4%
4. 長時間くつろげる居心地のよい空間	73	17.7%
5. パソコンが十分にあり、インターネットや資料作成ソフトが充実した空間	71	17.2%
3. 語学学習・プレゼン練習・視聴覚の視聴など、音の出せる空間	64	15.5%
2. 2人以上のグループで討議しながら学習できる空間	43	10.4%
6. そのほか	16	3.9%
合計	413	100.0%

Q9. 図書館で「学生選書ツアー」※を行っているのをご存知でしたか。

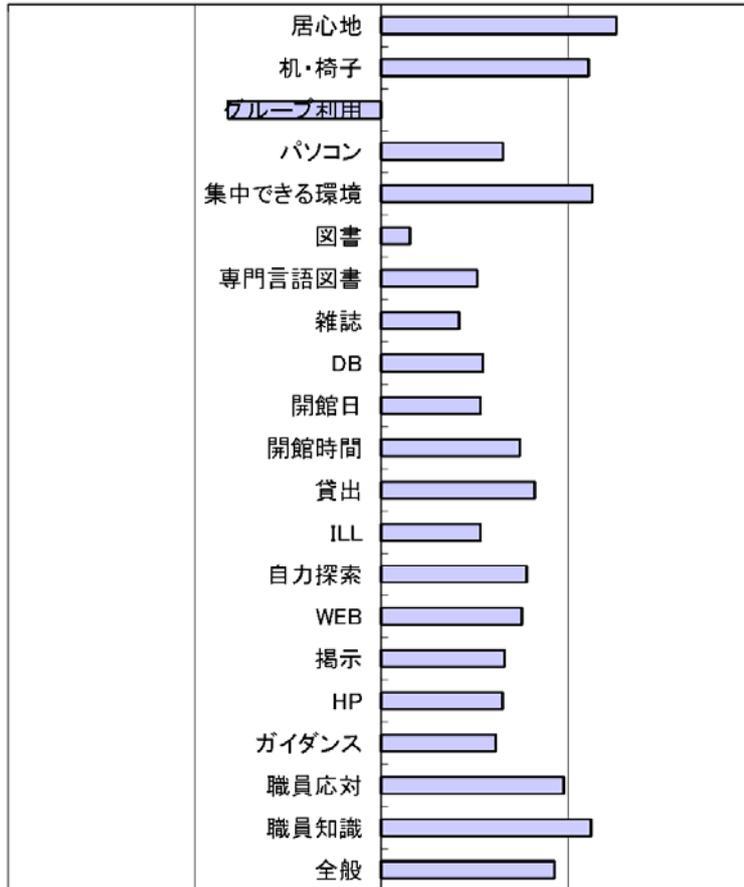
1. 知っていた	224	53.1%
2. 知らなかった	198	46.9%
合計	422	100.0%

■学術情報センター(図書館)についておたずねします。 四捨五入後 40%
 Q10. 図書館に対する満足度を教えてください。 四捨五入後 30%

		満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	実数
A	図書館は快適で居心地がよいですか	44%	41%	13%	2%	0%	425
B	机・椅子は使いやすいですか	43%	31%	23%	4%	0%	425
C	グループで利用できる場所が整っていますか	5%	5%	25%	36%	31%	421
D	必要な機能を備えたパソコンがありますか	27%	27%	34%	9%	4%	423
E	学習, 研究に集中できますか	40%	38%	20%	2%	1%	425
F	図書はそろっていますか	14%	27%	29%	20%	9%	424
G	専門言語の資料はそろっていますか	22%	29%	34%	11%	5%	420
H	雑誌はそろっていますか	18%	25%	40%	12%	4%	422
I	データベースはそろっていますか	20%	27%	42%	9%	2%	418
J	開館日は適切で利用しやすいですか	30%	23%	25%	14%	8%	425
K	開館時間は適切で利用しやすいですか	37%	25%	20%	12%	6%	423
L	貸出冊数, 貸出期間が適切ですか	39%	23%	22%	13%	3%	422
M	図書・複写物を学内・学外を問わず取り寄せることができますか	23%	23%	41%	10%	3%	419
N	必要な資料を自力で見つけられるようになっていきますか	27%	35%	27%	8%	2%	421
O	WEBから図書館サービスを利用できるようになっていますか	28%	32%	32%	5%	3%	421
P	図書館内の案内や掲示はわかりやすいですか	22%	30%	41%	6%	2%	423
Q	図書館のホームページは利用しやすいですか	22%	29%	42%	6%	1%	422
R	図書館が行うガイダンスは充実していますか	22%	26%	44%	6%	2%	418
S	窓口・図書館内での職員の対応はよいですか	38%	31%	23%	6%	2%	422
T	職員は質問に答えられる知識を誇っていましたか	44%	29%	25%	2%	1%	423
U	図書館全般について満足されていますか	25%	48%	21%	5%	0%	423

図書館に対する満足度(Q10) n=427

不満足 やや不満足 ふつう やや満足 満足



■ 学術情報センター(図書館)についておたずねします。 **四捨五入後 40%**
 Q10. 図書館に対する満足度を教えてください。続き **四捨五入後 30%**

		利用して いない(実数)	利用して いない(比率)	無回答 (実数)	無回答 (比率)
A	図書館は快適で居心地がよいですか	0	0%	3	1%
B	机・椅子は使いやすいですか	0	0%	3	1%
C	グループで利用できる場所が あります	92	22%	7	2%
D	必要な機能を備えたパソコンが ありますか	25	6%	5	1%
E	学習, 研究に集中できますか	5	1%	3	1%
F	図書はそろっていますか	7	2%	4	1%
G	専門言語の資料はそろっていま すか	69	16%	8	2%
H	雑誌はそろっていますか	115	27%	6	1%
I	データベースはそろっています か	104	25%	10	2%
J	開館日は適切で利用しやすいで すか	3	1%	3	1%
K	開館時間は適切で利用しやすい ですか	2	0%	5	1%
L	貸出冊数, 貸出期間が適切です か	12	3%	6	1%
M	図書・複写物を学内・学外を問 わず取り寄せることができます か	179	42%	9	2%
N	必要な資料を自力で見つけられ るようになっていますか	19	4%	7	2%
O	WEBから図書館サービスを利用 できるようになっていますか	140	33%	7	2%
P	図書館内の案内や掲示はわかり やすいですか	30	7%	5	1%
Q	図書館のホームページは利用し やすいですか	137	32%	6	1%
R	図書館が行うガイダンスは充実 していますか	174	41%	10	2%
S	窓口・図書館内での職員の対応 はよいですか	6	1%	6	1%
T	職員は質問に答えられる知識を 持っていましたか	113	27%	5	1%
U	図書館全般について満足されて いますか	0	0%	5	1%

■最後にあなた自身についておたずねします。
 Q11. 次のうちから、あなたの所属を教えてください。

1. 英米	124	29.2%
6. II部英米	87	20.5%
5. 国際関係	79	18.6%
3. 中国	35	8.2%
2. ロシア	29	6.8%
4. イスパニア	27	6.4%
7. 大学院	13	3.1%
11. 教職員	13	3.1%
9. 科目等履修生	8	1.9%
10. 卒業生	6	1.4%
8. 研究生	2	0.5%
12. そのほか	2	0.5%
合計	425	100.0%

【Q11. で 1～6を選ばれた方におたずねします】
 Q11-2. あなたの学年を教えてください。

2. 2年生	114	29.6%
4. 4年生	101	26.2%
3. 3年生	86	22.3%
1. 1年生	84	21.8%
合計	385	100.0%

情報メディア部門
活動状況

1. 2012年度の主な出来事

2012年

- 4月 1日（日） ・ 学内ネットワークサービス「ユーザーズガイド」（専任教員向け）改訂版の公開
・ 学内ネットワークサービス「ユーザーズガイド」（非常勤講師向け）の公開
- 4月 2日（月） ・ 図書館第2閲覧室増設ノートPC（8台）、プリンタ（1台）の供用開始
- 4月 4日（水） ・ 第3AV教室更新CALLシステム説明会（教員向け）
- 4月 5日（木） ・ 「コンピュータネットワークの利用について」新入生向けオリエンテーション実施
- 4月 9日（月） ・ フルシステム更新の第3AV教室及びPC更新の第5AV教室供用開始
- 5月 9日（水） ・ 第1回 初年次教育「コンピュータ・ネットワーク活用法」を実施（6月27日まで計13回実施）
- 8月10日（金） ・ 「子ども参観日」小学生の職場見学実施
- 12月5日（水） ・ デジタルLL機器デモンストレーション（第1会議室）

2013年

- 3月 1日（金） ・ 学生貸出し用PC（10台）を更新（学生会館）
- 3月18日（月） ・ 公衆無線LANスポット（au Wi-Fi SPOT）の設置（学生会館、図書館、三木記念会館）

2. キャンパスネットワークシステム

1) ネットワークサービス利用者数

(単位:アカウント)

サービス種別 (セグメント)	専任教員 (inst)	非常勤講師	院生・学生 (ug,gs)	職員 (office)	職員 (lib)
AD 認証サービス	109 (104)	257 (246)	2,414 (2,935)	3 (3)	
教材 BOX サービス	18 (16)	7 (7)	2,414 (2,935)		
学内メールサービス	109 (104)		2 (0)	70 (62)	17 (18)
SSL 学外接続サービス	41 (36)				
Web メールサービス	15 (14)		2,412 (2,935)	1 (1)	

※()内は 2011 年度 ただし、2011.4.27 時点の集計値であるため、院生・学生に 2012 年度入学生が含まれる。

2) ネットワークサービス登録状況

(単位:アカウント)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アカウント	作成・更新	577	59	5	4	6	3	10	18	24	9	6	39	760
	削除	53	59	74	5	587	5	1	12	6		1	36	839
パスワード	再設定	17	9	8	2	4	8	4	1	3	17	3	6	82
メーリング リスト	作成		2		2	1		2			1	4	1	13
	削除	1				1						4		6
	メンバ変更	100	31	19	23	6	13	50	5	6	4	14	32	303
教材 BOX	作成				1			3						4
	削除			2	1									3
合計		748	160	108	38	605	29	70	36	39	31	32	114	2,010

3) コンピュータ管理

i. 学内 LAN 接続コンピュータ

	コンピュータ数	構成管理登録済 コンピュータ数	構成管理未登録 コンピュータ数	登録率
教員	166	161	5 ※1	97%
事務局	85	85	0	100%
教室および共用 PC	327	327	0	100%
学務システム	9	0	9	0%
その他	8	8	0	100%
合計	595	581	14	98%

※1 構成管理システム未対応 OS (Windows 8) 5 台。

ii. 学内 LAN 非接続コンピュータ

	コンピュータ数	構成管理登録済 コンピュータ数	構成管理未登録 コンピュータ数	登録率
教員	137	129	8 ※1	94%
事務局	2	2	0	100%
教室および共用 PC	35	32	3 ※2	91%
図書館システム	45	4	41	9%
その他	23	23	0	100%
合計	242	190	52	79%

※1 構成管理非対応 OS6 台、構成管理未対応 OS (Windows 8) 1 台、その他 1 台

※2 LL アナライザー専用 (第 1・2AV 教室に各 1 台)、共同研究棟控室 1 台 (旧視覚障害者用端末)

3. 情報メディア教育施設

1) 情報メディア教室

i. 概要

LL (Language Laboratory) 教室： 2室 (1 AV、2 AV)

CALL (Computer Assisted Language Learning) 教室： 3室 (3 AV、4 AV、5 AV)

応用視聴覚教室 (同時通訳ブース4室及会議システム)： 1室 (応用)

※ 情報メディア教室を含む情報メディア教育環境の整備状況は、p. 37 5)を参照。

ii. 使用率

教室名	定員	2007 年度			2008 年度			2009 年度		
		時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)
CAI	48	8	13		5	8		9	14	
第1 AV	70	45	70		52	81		46	72	
第2 AV	48	42	66		39	61		52	81	
第3 AV	49	43	67	44	43	67	45	53	83	50
第4 AV	54	34	53		36	56		23	36	
第5 AV	54	39	61		39	61		53	83	
応用	40	6	9		12	19		21	33	
音声学		6	9		6	9				

教室名	定員	2010 年度			2011 年度			2012 年度		
		時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)
第1 AV	70	39	56		38	54		36	51	
第2 AV	48	45	64		35	50		30	43	
第3 AV	49	55	79	67	42	60	60	42	60	57
第4 AV	54	54	77		53	76		48	69	
第5 AV	54	45	64		45	64		47	67	
応用	60	41	59		38	54		38	54	

★ 使用率 (%) = 時限数/70 (小数点以下四捨五入)

・ 2009年度までの使用率 (%) = 時限数/64

・ 時限数は半期を1、通年または前期・後期の講義を2としてカウント

★ 2009年度に音声学実験室はメディア編集室に改修

★ 2010年度にCAIはマルチメディア教室2室に改修

2) 利用者支援サービス

情報メディア班では、教員や学生が快適にネットワーク環境を利用できるように、利用者支援サービスを提供している。

i. 利用者支援統計

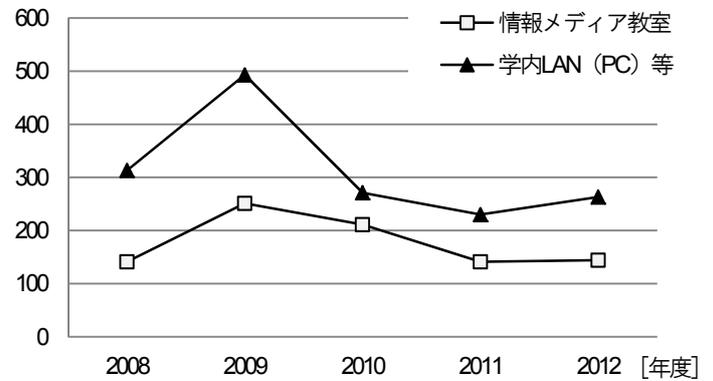
(単位：件)

年度	情報メディア教室	学内LAN (PC) 等
2008	141	313
2009	251	493
2010	211	271
2011	141	230
2012	144	263

※対応例：

- ・ CALL 教室利用支援
- ・ AV 機器利用支援
- ・ コンピュータ利用方法等支援
- ・ コンピュータソフト利用方法等支援

[件数]

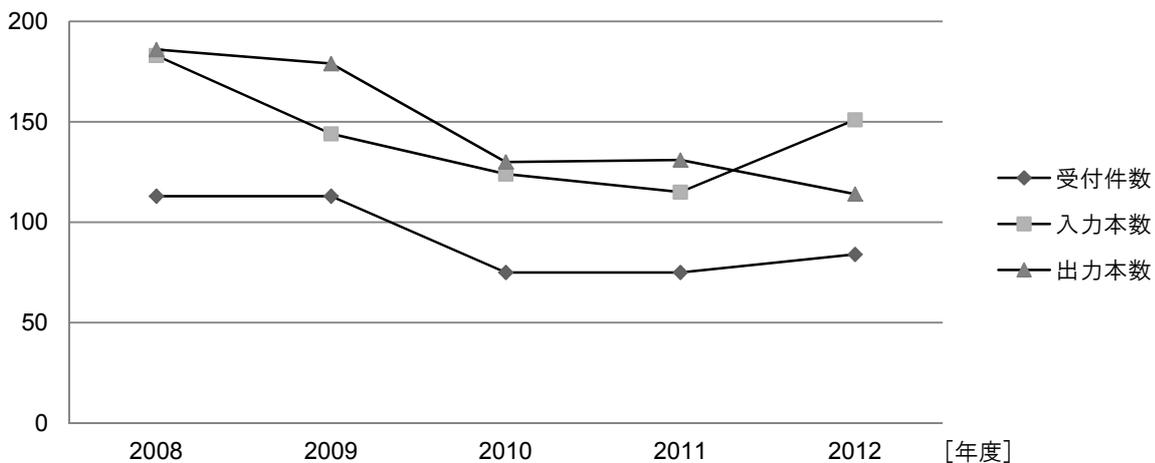


利用者支援統計

ii. 教材作成統計

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
受付件数	113	113	75	75	84
入力本数	183	144	124	115	151
出力本数	186	179	130	131	114

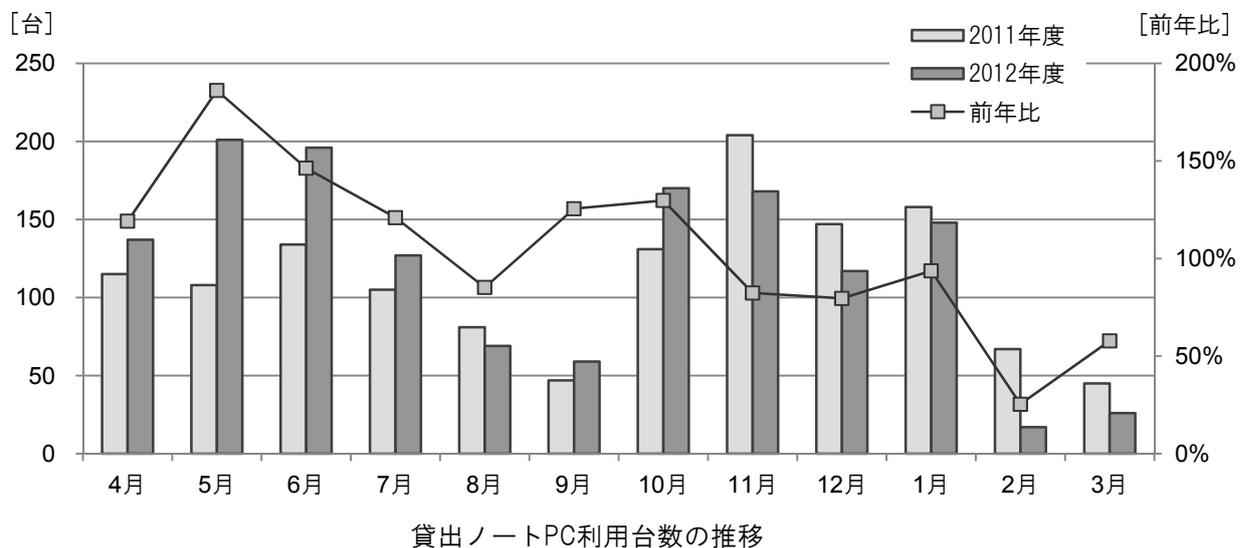
[件数]



教材作成統計 (年推移)

iii. 貸出ノート PC 利用統計

	2012 年												2013 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月				
PC 貸出数	OS-Win	133	197	192	123	58	58	161	156	108	143	17	26	1372		
	OS-Mac	4	4	4	4	11	1	9	12	9	5	0	0	63		
	計	137	201	196	127	69	59	170	168	117	148	17	26	1435		
前年比	119%	186%	146%	121%	85%	126%	130%	82%	80%	94%	25%	58%				
最大貸出数 (日)	10	13	12	15	6	6	10	10	11	12	4	4				
貸出し利用日	24	26	29	23	25	21	31	26	23	25	8	10	271			
平均貸出数 (台)	5.7	7.7	6.8	5.5	2.8	2.8	5.5	6.5	5.1	5.9	2.1	2.6	5.3			



3) 学生利用 PC 台数の推移

(単位：台)

年度	教室	CALL	PC	授業貸出	ポータルセン	キャリアセン	国際交流セン	育Gロビ	学生支援教	院生研究室	図書館	貸出PC	学生会館	学生PC室	ロビ	図書館	第2閲覧室	図書館	学生会館	2Fロビ	学生会館	その他	合計
2007	151	10	4	2	2	20	14	11	24	12	-	8	-	258									
2008	151	6	4	2	3	12	14	29	24	12	-	7	1	265									
2009	155	20	4	2	-	14	12	29	24	12	-	5	1	278									
2010	157	33	4	2	4	14	12	32	24	12	-	8	3	305									
2011	157	33	4	2	4	14	12	32	24	12	24	8	3	329									
2012	160	33	4	2	2	19	4	32	24	12	32	8	1	333									

※ 2012 年度より、図書館 OPAC を対象から除外しています。

4) 自習 PC 利用統計

i. PC 台数

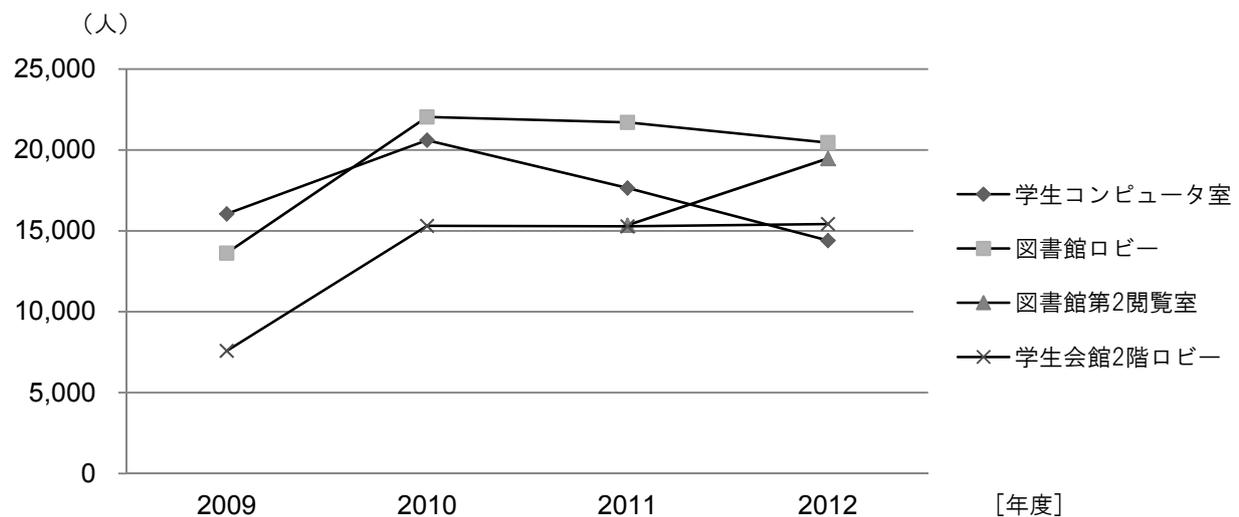
(単位：台)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	24	12	—	5	41
2010	24	12	—	8	44
2011	24	12	24	8	68
2012	24	12	32	8	76

ii. 利用者数

(単位：人)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	16,043	13,622	—	7,581	37,246
2010	20,602	22,037	—	15,309	57,948
2011	17,645	21,700	15,347	15,277	69,969
2012	14,402	20,455	19,472	15,424	69,753



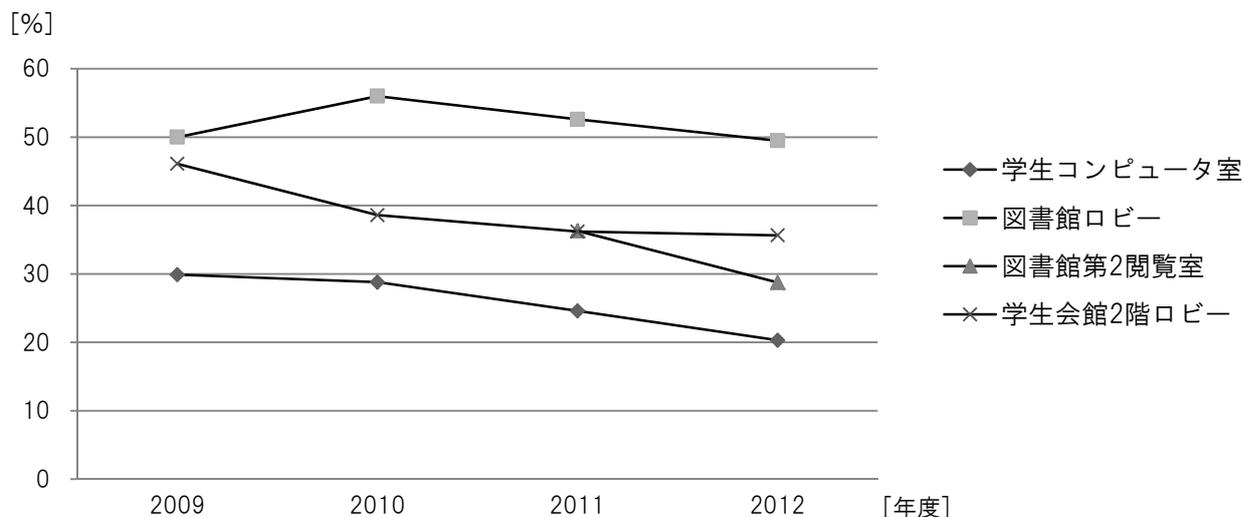
自習PC利用者数の推移

iii. 稼働率

(単位：%)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	29.9	50.0	—	46.1	37.6
2010	28.8	56.0	—	38.6	38.4
2011	24.6	52.6	36.3	36.2	35.3
2012	20.3	49.5	28.5	35.6	30.5

※稼働率＝ログオン時間÷開放時間



自習PC稼働率の推移

5) 情報メディア教育環境の整備状況

学舎

(34教室)

101	102	103	104	105	106	107		
201	202	203	204	205	206	207	208	209
301	302	303	304	305	306	307	308	309
401	402	403	404	405	406	407	408	409

第2学舎

(5教室)

501	502	503	504	505
-----	-----	-----	-----	-----

共同研究棟

(演習室 14)

(情報メディア教室 6)

601	602	603	604	605	606	607	608	609
610	611	612	613	614				
1AV	2AV	3AV	4AV	5AV				応用視聴覚

第2研究棟

(演習室 4)

701	702	703	704
-----	-----	-----	-----

 DVD・ビデオ一体型デッキ
 Blu-ray/DVD/PCディスプレイ

 情報コンセントのみ
 マルチメディア装置(OHC,DVD,VHS,操作卓)

 LL・マルチメディア
 CALL・マルチメディア
 同時通訳・マルチメディア

★ 全教室に教卓用情報コンセント設置

★ 409はDVD設置なし、VHSビデオデッキのみ

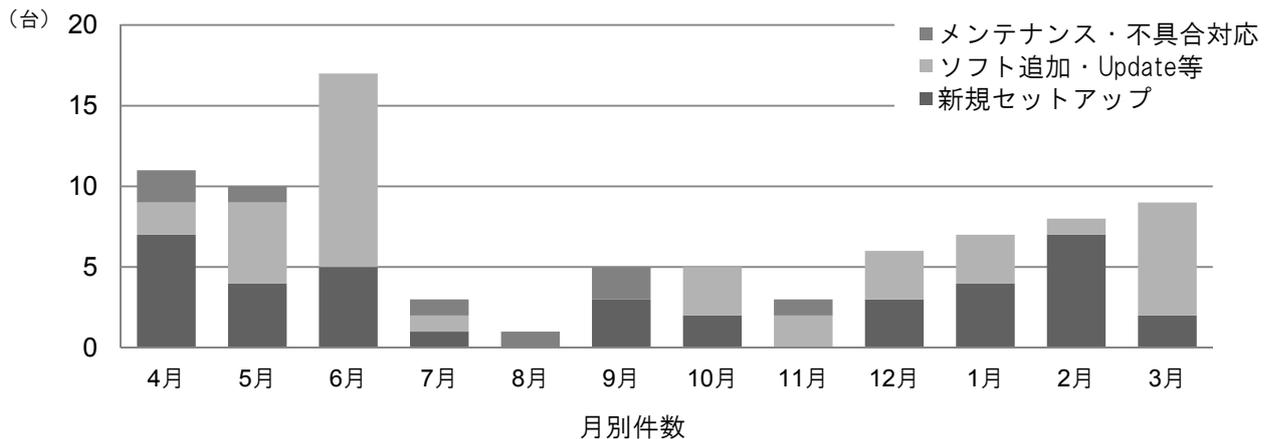
★ 610はBlu-ray設置なし、DVD/VHS/PCディスプレイ

6) PC セットアップ等作業件数

i. 月別件数

(単位：台数)

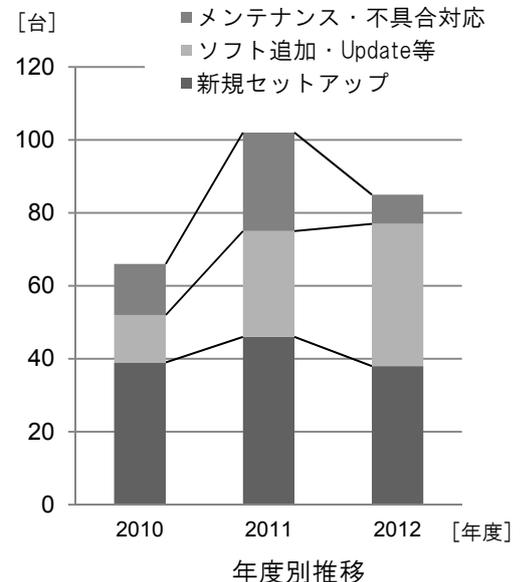
作業内容	OS	2012年										2013年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新規セットアップ	Win	5	3	2			2				4	7	1	24	
	Mac	2	1	3	1		1	2		3			1	14	
	小計	7	4	5	1		3	2		3	4	7	2	38	
ソフト追加 Update等	Win	2	3	2				2	1	1	3	1	6	21	
	Mac		2	10	1			1	1	2			1	18	
	小計	2	5	12	1			3	2	3	3	1	7	39	
メンテナンス 不具合対応	Win	2	1		1	1	2							7	
	Mac								1					1	
	小計	2	1		1	1	2		1					8	
合計		11	10	17	3	1	5	5	3	6	7	8	9	85	



ii. 年度別推移

(単位：台数)

作業内容	OS	2010年度	2011年度	2012年度
新規セットアップ	Win	21	28	24
	Mac	18	18	14
	小計	39	46	38
ソフト追加 Update等	Win	8	24	21
	Mac	5	5	18
	小計	13	29	39
メンテナンス 不具合対応	Win	8	16	7
	Mac	6	11	1
	小計	14	27	8
合計		66	102	85



4. 初年次教育

1) 新入生対象コンピュータ実習の実施

新たな取り組みとして、コンピュータの基本的な操作方法ならびに大学のネットワーク環境や各種情報サービスの利用方法を周知することを目的とした新入生向け初年次教育を13コマ実施した。

講義メニューは以下の6つを用意した。

- (1) 概要説明
- (2) コンピュータ利用環境
- (3) 教材BOX
- (4) ALC NetAcademy2
- (5) GAIDAI PASS
- (6) Webメール

アンケートでは、講義の理解度、時間配分、説明の分かりやすさとも肯定的な評価が8割以上にのぼった。また少人数制で実際にコンピュータを操作しながら使い方を確認できたことへの評価が高かった。

i. 日別初年次教育実施一覧

番号	実施日時	人数
1	5月9日(水) 3限	23人
2	5月9日(水) 4限	8人
3	5月16日(水) 3限	21人
4	5月16日(水) 4限	5人
5	5月19日(土) 2限	20人
6	5月23日(水) 3限	9人
7	5月23日(水) 4限	1人
8	5月30日(水) 3限	2人
9	5月30日(水) 4限	7人
10	6月6日(水) 3限	5人
11	6月6日(水) 4限	2人
12	6月20日(水) 7限	0人
13	6月27日(水) 5限	18人
合計		121人

ii. 学部別初年次教育実施一覧

学部	人数
英米学科	19人
ロシア学科	21人
中国学科	31人
イスパニア学科	5人
国際関係学科	7人
2部英米学科	38人
合計	121人

5. 情報化推進 WG 開催状況

- 第1回 2012年5月23日(水) 10:30～ 小会議室
- ・2012年度計画について
 - ・情報セキュリティに関する自己点検について
 - ・ソーシャルメディアの利用について
 - ・教員コンピュータ・ソフトウェア利用手順書の改定について
 - ・情報メディア教室等利用ソフト・備品購入希望について
 - ・構成管理システム実施状況について
 - ・GAIDAI-NET ユーザーズガイド・各種申請書 2012年度版について
 - ・その他
 - 第3AV教室説明会の開催報告
 - 初年次教育 コンピュータ・ネットワーク活用法
- 第2回 2012年7月20日(金) 10:00～ 小会議室
- ・「学術認証フェデレーション(愛称：GakuNin)」参加に向けて
 - ・初年次教育について
 - ・アルクネットワークアカデミー2について
 - ・学生のソーシャルメディアの利用について
 - ・その他
 - 第2期中期計画について
 - 不明機器の検出への対応について
 - 教員コンピュータ・ソフトウェア利用手順書
- 第3回 2012年11月16日(金) 11:00～ 小会議室
- ・アルクネットワークアカデミー2の更新方針について
 - ・第1・2AV教室の更新方針について
 - ・学術認証フェデレーションについて
 - ・学生ICT環境アンケートの実施について
 - ・その他
- 第4回 2013年1月23日(水) 11:00～ 小会議室
- ・公衆無線LAN (au-WiFi スポット) について
 - ・アルクネットワークアカデミーの次年度運用について
 - ・学術認証フェデレーションについて
 - ・学生ICT環境アンケートの結果について
 - ・その他

第5回 2013年3月18日(月) 10:00～

小会議室

- ・ 公衆無線 LAN (au-WiFi スポット) の利用について
- ・ アルクネットワークアカデミー2 について
(現行の ALC NetAcademy2 のサービス終了と新規サービスの開始について)
- ・ 教員コンピュータ・ソフトウェア利用手順書の改定について
- ・ GAIDAI-NET ユーザーズガイドの改訂について
- ・ その他
 - 2013 年度の初年次教育について
 - IE9 での印刷不具合について
 - 教職サロンの PC 設置について
 - 教育研究用 Soft 購入希望について
 - 教員研究室からの教材 BOX へのアクセスについて

6. その他

1) 研修等参加記録

情報メディア班

日程	用務・研修名	主催	会場
6月7日 ～8日	オープンハウス 2012 ・セッション「スマホ持ち込みのセキュリティ 対策」 ・セッション「学認にまつわる仕様書の書き方 と調達の仕方」	国立情報学研究所	国立情報学研究所 特別会議室
6月22日	「NEW EDUCATION EXPO 2012 in 大阪」	NEW EDUCATION EXPO 実行委員会	大阪マーチャンダ イズマート (OMM) セミナールーム
6月28日	大学カンファレンス 2012	シスコシステムズ 合同会社	シスコシステムズ 大阪オフィス
7月4日	平成 24 年度第 1 回学術情報基盤オープンフォー ーラム 「大学におけるモバイル情報端末の活 用とセキュリティ」	国立情報学研究所	国立情報学研究所 学術総合センター 2F 一橋講堂
9月18日	第2回大学 ICT 活用セミナー	西日本電信電話 株式会社	京都大学百周年時 計台記念館
9月24日 ～25日	情報処理技術セミナー	国立情報学研究所	国立情報学研究所
10月9日	Windows Server 2012 First Look	グローバルナレッジ ネットワーク (株)	グローバルナレッ ジネットワーク
11月13日	学術情報基盤オープンフォーラム 「SINET&学認クラウド利用説明会」	国立情報学研究所	神戸市勤労会館
11月30日	VDI・リモートアクセス活用事例セミナー	EMC ジャパン 株式会社	ホテルモントレ 大阪
2013 年			
3月4日 ～5日	Japan Identity & Cloud Summit 2013	国立情報学研究所	国立情報学研究所 学術総合センター

2) 国立情報学研究所 学術認証フェデレーション 構築・運用方法について

i. 概要

本学では、国立情報学研究所が実施する「学術認証フェデレーション」(以下「学認」という)への参加を検討しているが、2012 度は国立情報学研究所と本学との共同研究として、IdP ホスティングサービスの試験構築を行いその利用を開始した。また、実際に利用しながら、技術的要件等を整理し、学認参加のための準備を行った。

ii. 取組の経過

2012 年

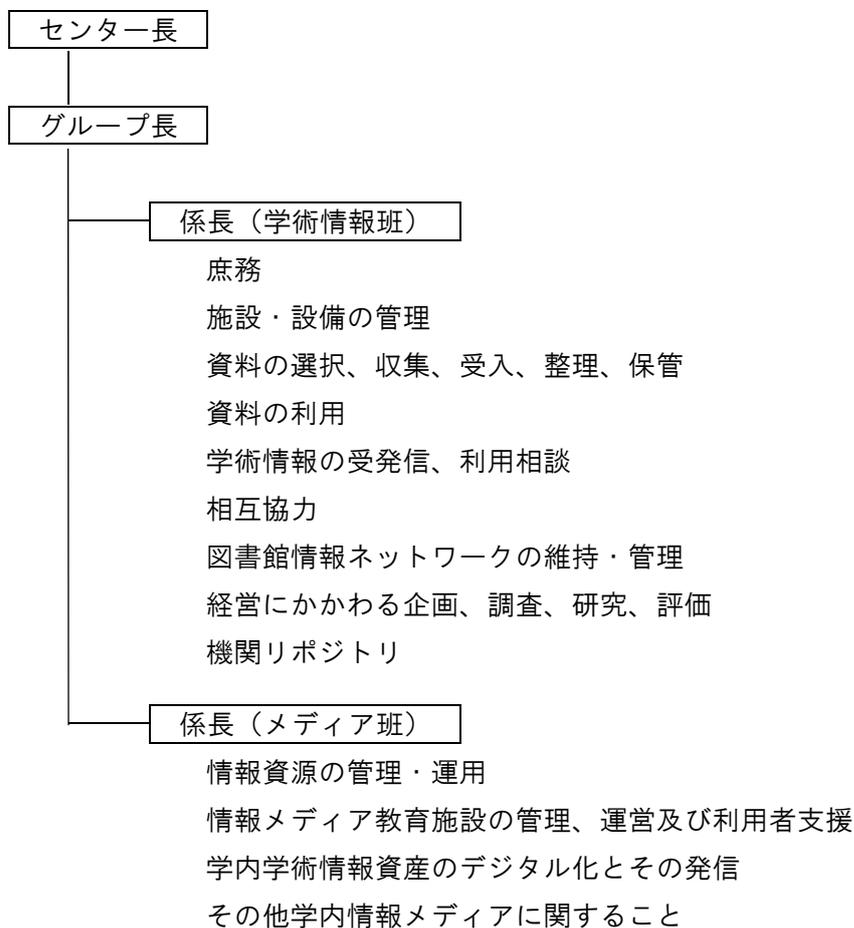
- ～ 6 月 ・ IdP ホスティング環境の整備
 - ・ SSL サーバー証明書のインストール
- 7 月 ・ 本学から IdP ホスティングサービスへのアクセス確認
- 8 月 ・ IdP ホスティング環境の最終調整
- 10 月 ・ 学認テストフェデレーションへの参加申請内容の整理

2013 年

- 1 月 ・ 登録ユーザー情報、および運用ルールの整理
 - ・ 学認テストフェデレーション参加の学内決裁
- 2 月 ・ 管理者の登録
- 3 月 ・ テストユーザーの登録

参考

1) 組織・事務分掌 2012年4月1日現在



雇用形態別職員数の推移 5月1日現在（）内は司書有資格者で内数

	学術情報班					情報メディア班					合計
	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	
2008年度	7(6)	0	4(3)	1	12(9)	2(1)	0	4(1)	0	6(2)	18(11)
2009年度	7(6)	0	5(4)	0	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2010年度	6(5)	0	5(4)	1(1)	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2011年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	1	2	6(2)	18(11)
2012年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	0	3	6(2)	18(11)

2) 蔵書・コレクション

特別文庫

① アフロ・アメリカ黒人文庫

1976年に「黒人研究の会」の発起人のひとりであった故貫名美隆名誉教授の蔵書の一部が図書館に寄贈されたのを機に開設された。

文庫の特徴は、当初はアフリカ、アメリカの黒人文学書を中心にし、歴史、社会、経済に関する資料が多かったが、後には先住アメリカインディアン、日系を含むアジア系アメリカ人、カリブ周辺の住民に関する図書にまで収集が広がった。

1900年代初頭に黒人と白人の共存を主張した「有色人地位向上全国協会」の機関紙のバックナンバー47冊、黒人奴隷について州ごとの調査結果を示した『ジ・アメリカンスレイブ』全19巻などが特筆すべきコレクションとしてあげることができる。

文庫は和書1,000冊、洋書2,000冊で構成されている。

② エスペラント文庫

エスペラント文庫が本学図書館に設置された経緯は定かでない。本学カリキュラムに研究語学のひとつとしてエスペラント語が正式科目として位置づけられていたこと、エスペラント図書を多数著された故貫名美隆名誉教授の力があってのことと推測されている。

文庫にはエスペラント語の考案者でもあるザメンホフ博士が翻訳したシェークスピア『ハムレット』、シラー『群盗』など稀覯本に値するものも含まれている。

図書館刊行の目録には約1,500冊が収録されている。

寄贈による文庫

① 金田文庫：初代学長、金田近二氏寄贈

戦前の日本の植民地政策研究、移民政策研究、インド・東南アジア・中国を中心とする地域研究関係図書

② 中村文庫：中村賢二郎氏寄贈

商業英語、外国貿易実務関係図書

③ 打田文庫：打田稔氏寄贈

現代中国語図書、漢籍など

④ 団文庫：団忠夫氏寄贈

ラテンアメリカ関係のスペイン語図書

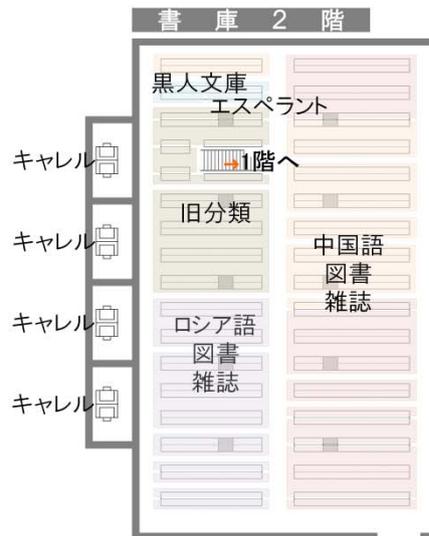
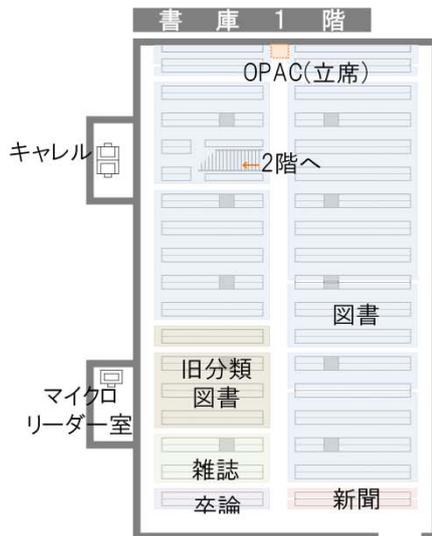
⑤ 三木記念文庫：財団法人三木記念会寄贈

オーストラリア・マレーシア・インドネシア諸国を中心とした太平洋文化圏研究に関する図書

⑥ 小西文庫：小西比左江、沼波美津子両氏寄贈

小西友七氏所蔵の英語学、語法研究、辞書編纂に関する図書

3) 図書館施設・設備



占有延床面積：3,300 m²

閲覧席 290 席

閲覧室： 108 席

第2閲覧室： 72 席(1F)、92 席(2F)

キャレル： 18 席

視聴覚ブース：18 席(2 人席：4 5 人席：2)

書庫内キャレル：2 人席×9 室

蔵書検索(OPAC)端末：9 台

データベース専用端末：4 台

学内 LAN 専用マシン：

デスクトップ PC：12 台(ロビー)

ノート PC：32 台(第2閲覧室)

4) 関係諸規程

神戸市外国語大学学術情報センター規程

2007年4月1日

規程第103号

(趣旨)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学組織規程(2007年規程第1号)に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)について、基本的事項を定める。

(目的)

第2条 学術情報センターは、本学に必要な学術情報メディアと情報メディア関連環境を整備し、本学構成員に提供することにより、本学における教育・研究を支援するとともに、地域の教育・文化の向上に貢献することを目的とする。

(施設)

第3条 学術情報センターに図書館および情報メディア施設を置く。

(組織及び運営)

第4条 学術情報センターに学術情報センター長を置く。学術情報センター長は、学術情報センターの事務を掌理し職員を指揮監督する。

2 学術情報センター長の選考に関する規程は、別に定める。

第5条 学術情報センターに関する重要事項は学術情報部会で審議する。

(利用)

第6条 学術情報センターの利用に関する規程は、別に定める。

(受贈・受託資料)

第7条 学術情報センターは、資料の寄贈を受け、または資料を受託することができる。

附 則

1 この規程は、2007年4月1日から施行する。

2 神戸市外国語大学図書館規程(2007年4月規程第43号)は、廃止する。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学図書管理規程

2007年4月1日

規程第100号

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学固定資産管理規程第2条第2項の規定に基づき、公立大学法人神戸市外国語大学における図書の適正な管理その他必要な事項を定めるものとする。

(図書の定義)

第2条 この規程における図書とは、印刷その他の方法により複製した文書または図画、もしくは電子的方法、磁気的方法その他の方法により文字、映像又は音を記録した物品として管理が可能なもので、教育又は研究の用に供するもの(使用予定期間が1年未満のものを除く。)をいう。

(管理責任者)

第3条 図書の管理責任者(以下「図書管理責任者」という。)は、学術情報センター長とする。

(取得)

第4条 図書を取得した場合は、図書管理責任者は、速やかに受入手続を行わなければならない。

(取得価額)

第5条 図書の取得価額は、次の各号に掲げるとおりとする。

- ・ 購入した図書は、購入代価及び付随費用
- ・ 寄附により取得した図書は、定価又は同種の図書を参考とした見積額(見積りが困難な場合は、備忘価額)
- ・ 雑誌等を合冊製本して図書とする場合 原則として、当該雑誌等の購入代価及び合冊製本に要した経費
- ・ 製作による場合 その製作に要した経費

(寄贈)

第6条 図書の寄贈について受入れをする場合は、所定の手続を経なければならない。

(図書の管理事務)

第7条 図書管理責任者は、図書の増減及び現在高を明らかにするために図書原簿を作成し、保管しなければならない。

(受入)

第8条 図書の受入れをするときは、図書原簿に記録することにより登録番号を与え、図書にその登録番号を表示しなければならない。

(保管および管理責任)

第9条 図書管理責任者は、登録した図書について、所定の場所に保管し責任をもって管理しなければならない。ただし、貸出等により利用中の図書については、利用者が管理責任を負うものとする。又、教員専用図書については、当該教員が管理責任を負うものとする。

(点検)

第10条 図書管理責任者は、第8条の規定により登録した図書の管理について、定期的に点検を行うものとする。

(登録の抹消)

第11条 図書管理責任者は、資産として登録されている図書が次の各号のいずれかに該当する場合は、登録を抹消することができる。

- ・ 破損又は汚損がはなはだしく、補修不能な図書
- ・ 第10条に定める点検の結果、滅失したと認められた図書

- ・ 災害、盗難等により滅失した図書
 - ・ 保存の必要がないと認められた図書
 - ・ その他図書管理責任者が登録抹消を適当と認めた図書
- (処分手続)

第12条 図書管理責任者は、登録を抹消する図書のうち現存するものについて廃棄、贈与又は売却のうちから取扱方法を決定する。

(財産管理者への報告)

第13条 図書管理責任者は、決算時等必要に応じ、図書の取得及び除却の状況等を含め、図書の保管状況を財産管理者に報告するものとする。

(その他)

第14条 この規程に定めるもののほか、図書の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程

2007年4月1日

規程第104号

(趣旨)

第1条 この規程は、神戸市外国語大学学術情報センター規程第5条に基づき、神戸市外国語大学学術情報センターの図書、逐次刊行物、視聴覚資料その他の学術情報(以下「図書等」という。)の利用について必要な事項を定める。

(利用の対象となる図書等)

第2条 この規程により利用できる図書等は、学術情報センターで所蔵するものとする。

2 学術情報センター以外で所蔵する図書等の利用については学術情報センターが別に定める。

(利用者の範囲)

第3条 図書等を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- ・ 本学教職員
- ・ 本学大学院学生
- ・ 本学学生
- ・ 国内留学生
- ・ 本学客員研究員

2 前項に規定する者のほか、次に掲げる者は本学の利用に支障のない限り、センター長の許可を得て許可する範囲内で図書等を利用することができる。

- ・ 本学の卒業生
- ・ 図書館間相互協力貸借協定による者
- ・ 学術研究の目的をもってセンターの利用を希望する大学等学術研究機関に所属する者
- ・ その他センター長の許可を得た者

(利用の方法)

第4条 図書等の利用の方法は、次の通りとする。

- ・ 館内利用
- ・ 帯出利用
- ・ 参考業務
- ・ 資料の複写
- ・ 資料相互利用
- ・ その他館内施設および機器等の利用

2 センター長は、必要があると認めるときは、前項の利用を制限し、または禁止することができる。

(図書等を利用できる時間)

第5条 図書等を利用できる時間は、月曜日から木曜日までは午前9時から午後9時10分まで、金曜日は午後9時20分まで、土曜日は午前10時から午後6時までとする。ただし、春季、夏季及び冬季休業期間中の平日は午前9時から午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、センター長が必要と認めるときは、臨時に時間を延長または短縮することができる。

(図書等を利用できない日)

第6条 センターの図書等を利用できない日は、次の通りとする。

- ・ 日曜日
- ・ 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

- ・ 曝書期間
- ・ 蔵書点検等に必要期間
- ・ 年末年始
- ・ 春季、夏季及び冬季休業期間中における土曜日

2 前項の規定にかかわらず、センター長が必要と認めるときは、臨時に休館日を定めることができる。
(利用の停止等)

第7条 センター長は、別に定める施行規則等に違反した者に対し、図書等の利用を停止し、または禁止することができる。

(損害賠償)

第8条 学術情報センターの機器、施設を滅失または毀損したとき、または資料を汚損、紛失したときは、原状回復または損害賠償の責を負う。

(規程の変更)

第9条 この規程は、教育研究評議会の合議を経て変更することができる。

(規程の施行規則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センター本館の利用に関し必要な事項は、センター長がこれを定める。

附 則

- 1 この規程は、2007年4月1日から施行する。
- 2 神戸市外国語大学図書館利用規程(2007年4月規程第81号)は廃止する。

附 則

この規程は、2009年8月1日から施行する。

神戸市外国語大学情報メディア教育施設利用規程

2007年4月1日

規程第83号

(趣 旨)

第1条 この規程は、情報メディア教育施設（以下「施設」という。）の管理運営について定める。

(施 設)

第2条 施設とは以下のものをいう。

- (1) 情報メディア教室
- (2) 教材作成・研究施設
- (3) 学生コンピュータ室
- (4) その他

(施設の管理運営)

第3条 施設は学術情報センター長が管理運営する。

(利用者の範囲)

第4条 施設を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) その他学術情報センター長の許可を得た者

(施設の利用目的)

第5条 施設の利用目的は次のとおりとする。

- (1) 本学の正課授業
- (2) 本学の主催又は主管する行事
- (3) 本学の教職員及び学生が行なう研究教育活動

但し、学生の場合は、教職員の指導の下に行なうことを原則とする。

- (4) 本学の学生が行なう課外活動
- (5) その他、学術情報センター長が特に使用許可した行事

(施設の利用時間)

第6条 施設の利用時間は、別に定める。

(施設の利用手続き)

第7条 施設を利用しようとする者は、利用する日の1週間前までに所定の施設利用許可願を学術情報センター長に提出し、許可を受けなければならない。

但し、授業のために年間を通じて使用する場合は、年度始めに当該の授業を管轄するグループの長より学術情報センター長に時間割の形式で連絡するものとする。

(施設の利用停止)

第8条 学術情報センター長は、施設内の秩序を乱し、運営に支障をきたす利用者に対しては、利用を停止することができる。

(備品等の賠償)

第9条 利用者は故意又は過失により施設の設備・備品等を破損、汚損又は紛失した場合は、その損害に

つき賠償しなければならない。

2 学術情報センター長が天災その他やむを得ない事由があると認められた時は、所定の手続きを経て前項の責任を減免することができる。

(その他)

第10条 この規程に定める以外に施設の利用に関して必要となる事項は、教育研究評議会の審議に基づき学術情報センター長が定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2007年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、2009年4月1日から施行する

神戸市外国語大学学術情報部会規程

2010年4月1日

規程第2号

(設置)

第1条 神戸市外国語大学教育研究評議会規程第8条第1項の規程に基づき学術情報部会(以下「部会」という。)を設置する。

(審議事項)

第2条 部会は、学術情報センター(以下「センター」という。)に関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項
- (5) その他、センターの運営に関する重要な事項

(組織)

第3条 部会は、次の委員で組織する。

- (1) センター長
 - (2) 各学科・グループから選出された教員 7名
英米・ロシア・中国・イスパニア・国際関係学科から各1名
法経商・総合文化グループから各1名
 - (3) センターグループ長
 - (4) その他センター長が必要と認めた者
- 2 前項第2号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 部会に部会長をおき、センター長を充てる。

- 2 部会長は、部会を招集し、その議長となる。
- 3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 部会は、委員の過半数の出席により成立する。

- 2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 部会長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、センターにおいて行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が定める。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2011年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針

2012年4月1日

規程第7号

(目的)

- 1 この指針は、公立大学法人神戸市外国語大学（以下「本学」という。）において運用する神戸市外国語大学機関リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）の運用方針を定めることを目的とする。

(定義)

- 2 この指針において「リポジトリ」とは、本学の教育研究活動において作成された成果を電子的に収集し、恒久的に蓄積・保存し、学内外に無償で発信・提供することにより、教育・研究の発展に資するとともに、広く社会に対し貢献することを目指すシステムをいう。

(管理運営)

- 3 リポジトリの管理・運営は、学術情報センター（以下「センター」という。）が行う。

(登録者)

- 4 リポジトリに登録できる者（以下「登録者」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 本学に在籍する又は在籍したことのある教職員及び大学院生
- (2) 本学の学部・学科コース・研究科・研究所・センター等の各組織、又はそれらを母体とする団体
- (3) 本学内に事務局がある、又は(1)に該当する者が委員や代表を務める団体
- (4) その他、学術情報センター長（以下「センター長」という。）が特に認めた者

(登録対象)

- 5 登録対象は以下の要件を満たすものとする。

- (1) リポジトリに登録・蓄積・保存（以下「登録」という。）する範囲は、本学において作成された別表に掲げる教育・研究成果物（以下「成果物」という。）とする
- (2) 公開に当たって、法令上、社会通念上、及びセキュリティ上問題が生じないもの
- (3) ネットワークを通じて配信できること
- (4) その他、センター長が適当と認めたもの

(登録手続き)

- 6 登録者は、自らが作成又は作成に関わった成果物について、別に定める手続きにより、その登録作業をセンターに依頼することができる。

(登録された成果物の利用)

- 7 センターは、リポジトリに登録された成果物を次のとおり利用する。

- (1) 当該成果物を複製し、リポジトリを構成するサーバに格納する。
- (2) 前記の複製物をネットワークを通じて不特定多数に無償で公開又は送信する。
- (3) 保存・利用・送信の便宜のために必要に応じて媒体変換を行う。

- 8 センターは、リポジトリに登録された成果物の利用について、前項に掲げる利用方法以外による利用は行わない。

(著作権の周知)

- 9 センターは、ネットワークを通じて成果物を利用するものに対し、著作権法を遵守するよう周知する。

(成果物の著作権と利用許諾)

- 10 リポジトリに登録し公開する成果物について、著作権が複数の者に帰属している場合、登録者は、項目7に掲げる利用について、他の著作権者の許諾を得ておかななければならない。

- 11 リポジトリに登録された成果物の著作権は、著作権者の元に留保される。

(成果物の削除)

- 12 センターは、次のいずれかに該当する場合は、登録された成果物を削除又は非公開化することができ
る。
- (1) 登録者から削除又は非公開の申請があった場合
 - (2) 他者に帰属する著作権、所有権等を侵害する、又は社会的にみて著しく不適切な内容を含むと、学
術情報部会において認められた場合
- (免責)
- 13 本学は、登録された成果物を利用することによって生じた利用者のいかなる損害・不利益についても、
一切責任を負わないものとする。
- (その他)
- 14 この指針に定めのない事項については、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、2012年4月1日から施行する。

別表（項目5関係）

種 別	対象となる成果物
紀要論文	紀要類に掲載された論文
学位論文	本学に提出された博士論文、修士論文
研究報告書	ワーキングペーパー、ディスカッションペーパー、研究報告・調査報 告（科研費等の助成金による研究成果の報告書等）
学術雑誌論文	各種学術団体等が発行する学術雑誌、研究会誌等に掲載された論文
会議資料	会議録・予稿集に掲載された論文、発表資料、ポスター等
教育資料	授業、講習会などで用いる資料、配布資料（講義ビデオなど動画も含 める）
書籍	全部又は一部
その他	

* 大学院生の成果物については、指導教官の承認を得ることとする。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則

2013年 4月 1日
学術情報センター長決定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(以下「利用規程」という。)第10条に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター図書館(以下「図書館」という。)の利用について必要な事項を定めるものとする。

(利用者の範囲)

第2条 利用規程第3条第1項第1号に掲げる「本学教職員」には、非常勤講師、非常勤職員、名誉教授及びこれに準じる者を含めるものとする。

2 利用規程第3条第1項第2号に掲げる「本学大学院学生」には、研究生、研修員、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。

3 利用規程第3条第1項第3号に掲げる「本学学生」には、科目等履修生、外国人交流学生、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。

4 利用規程第3条第1項第4号に掲げる「国内留学生」とは、神戸市外国語大学国内留学生の受入に関する規程(2007年4月規程第59号)第2条に規定する者をいう。

5 利用規程第3条第1項第5号に掲げる「本学客員研究員」とは、神戸市外国語大学客員研究員に関する規程(2007年4月規程第77号)第2条に規定する者をいう。

6 利用規程第3条第2項第1号に掲げる「本学の卒業生」には、大学院修了生及びこれに準じるものを含めるものとする。

第2章 図書館カード

(図書館カードの交付)

第3条 図書館を利用する者に対し、図書館カードを交付する。

(図書館カード交付の範囲)

第4条 図書館カードの交付を受けることができる者は、利用規程第3条に掲げた者とする。

(図書館カードの交付)

第5条 図書館カードの交付を受けようとする者は、カード申請書をセンター長に提出しなければならない。ただし、本学の教職員証又は学生証の交付を受けた者は、それをもって図書館カードの交付を受けたものとする。

(図書館カードの有効期間)

第6条 図書館カードの有効期間は、次表のとおりとする。

区 分	有効期間
本学教職員 本学大学院学生 本学学生 国内留学生 本学客員研究員	本学に在職又は在籍している期間(名誉教授は、称号が授与されている期間)
本学の卒業生	図書館カードを交付した日の属する年度の末日までの期間

(図書館カードの取り扱い)

第7条 図書館を利用するときは図書館カードを携帯し、図書館職員の求めに応じ、これを提示しなければならない。

2 図書館カードの利用者は、次の各号を守らなければならない。

- (1) 図書館カードを譲渡又は貸与してはならない。
- (2) 図書館カードを紛失、破損若しくは汚損したとき、又は氏名若しくは住所に変更があったときは、速やかに届け出なければならない。
- (3) 前号による届け出をした者で図書館カードの再交付を希望する者は、所定の手続きを経るものとする。

第3章 館内利用

(書庫の図書等の利用)

第8条 書庫の図書等を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

(貴重図書の利用)

第9条 貴重図書を利用しようとする者は、事前に所定の手続きを行い、センター長の許可を得なければならない。

第4章 帯出利用

(帯出利用の手続)

第10条 図書等の帯出利用を受けようとする者は、図書館カードを提示し所定の手続きを行うものとする。

(帯出制限)

第11条 次の図書等は、帯出することができない。ただし、特別の事由がある場合は、センター長が許可した者に限り、センター長が定める一定期間帯出することができる。

- (1) 貴重図書
- (2) 視聴覚資料
- (3) 電子媒体資料
- (4) 寄託図書(卒業論文、修士論文等)

2 次の図書等は、本学教職員に準じるもの限り、センター長の許可を得て帯出することができる。

- (1) 参考図書
- (2) 逐次刊行物(最新刊、特に指定したものは除く)

(帯出の冊数及び期間)

第12条 帯出することのできる図書等の冊数及び期間は、次表のとおりとする。

区 分	冊 数	期 間	備 考
本学教職員 客員研究員	30 冊	12 週間	逐次刊行物は5冊1週間
本学大学院学生 国内留学生	20 冊	4 週間	
本学学生(3・4年生)	10 冊	2 週間	
本学学生(1・2年生) 本学の卒業生	5 冊	2 週間	

2 センター長は、次の各号の一に該当する場合は、前項の規定にかかわらず冊数を増加し、又は期間を延長することができる。

- (1) 春季、夏季及び冬季休業期間にかかる特別貸出期間

(2) 特別の研究のため必要と認める場合

(帯出図書の取扱い)

第13条 図書の帯出者は、次の各号に定めるところを守らなければならない。

- (1) 帯出した図書等は、期間内に返却しなければならない。
- (2) 帯出した図書等は、いかなる場合も転貸してはならない。
- (3) 本学教職員の身分を失ったとき、又は本学大学院学生、学生が退学若しくは除籍処分を受けたときは、直ちに帯出中の図書等を返却しなければならない。

(帯出利用の停止)

第14条 前条第1号、第2号に違反した者は、次の定めるところにより資料の帯出利用を停止する。

- (1) 期間を超えて返却した場合には、返却した日から起算して期間を超えた日数の間、帯出利用することができない。
- (2) 前号の規定違反を繰返す者については、図書館の利用を停止することができる。

第5章 参考業務

第15条 利用者は、教育若しくは研究上に必要な資料の利用についての相談、又は文献の書誌事項、資料の所在調査及び事項調査等を図書館に依頼することができる。

第6章 資料の複写

(資料の複写及び制限)

第16条 図書等を複写しようとする者は、複写申込書をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の複写申込書の提出があったときは、著作権法(昭和45年法律第48号)に基づき適法な範囲で図書等の複写を行い、又は条件を付して図書等を複写させることができる。ただし、次の図書は、複写することができない。

- (1) 寄託図書のうち、寄託の条件として複写を禁止しているもの
- (2) その他特にセンター長が指定するもの

(複写の費用)

第17条 複写に要する費用は、申込者が負担する。

(著作権に関する責任)

第18条 資料の複写に関する著作権法上の責任は、申込者において負う。

第7章 資料相互利用

(資料相互利用)

第19条 本学教職員、本学大学院学生及び本学学生は、他大学図書館等との相互貸借要項及び指針等に従い、現物貸借、文献複写及び訪問利用の依頼を行うことができる。ただし、非常勤講師については、現物貸借及び訪問利用は利用できない。

(他大学図書館等からの貸借・訪問利用の依頼)

第20条 図書館は、他大学図書館等から図書等の利用依頼があった場合は、本学における教育又は研究上に支障のない限り、これを許可することができる。

第21条 前条による利用の依頼があっても、次の各号に該当する資料は、対象から除外する。

- (1) 教員専用図書として購入され教員の保管下にある資料
- (2) その他センター長が指定する資料

第22条 現物貸借で一機関に対する貸出冊数及び期間は、次のとおりとする。ただし、センター長が特に必要と認めるときは、この限りではない。

- (1) 冊数 5冊以内
- (2) 期間 搬送等に要する日数を含めて1月以内

(文献複写の受託)

第 23 条 図書館が受託する文献複写の手続きについては、別に定める。

(相互利用の費用)

第 24 条 資料相互利用に要する費用は、すべて利用者が負担しなければならない。

(神戸研究学園都市大学図書館との相互利用)

第 25 条 神戸研究学園都市大学図書館相互利用については、「神戸研究学園都市大学図書館相互利用直接貸出実施要綱」による。

(神戸市立図書館との相互貸借)

第 26 条 神戸市立図書館との相互貸借については、「神戸市立図書館と神戸市外国語大学学術情報センター間の相互貸借実施に伴う協議事項」による。

第 8 章 館内施設・機器等の利用

(館内施設の利用)

第 27 条 AV ブース又はマイクロ閲覧室の設備を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

2 マイクロリーダープリンターの利用にかかる費用については、申込者が実費負担するものとし、料金については、別に定める。

(機器等の利用)

第 28 条 図書館内の情報機器を利用する場合は、「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産運用・管理規程」(2011 年 8 月規程第 1 号)及び「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産利用規程」(2011 年 8 月規程第 2 号)の定めるところに従う。

第 9 章 損害賠償

(届出義務)

第 29 条 図書等を汚損又は紛失した者は、図書紛失・汚損届を提出しなければならない。

(賠償の決定)

第 30 条 センター長は、図書紛失・汚損届を受け、紛失状況及び損傷の程度を考慮の上、賠償の決定を行う。

(利用制限)

第 31 条 賠償する者は、賠償が完了するまでの期間、利用規程第 4 条に規定する帯出利用等の利用について制限を受けるものとする。

(賠償方法)

第 32 条 賠償の方法は、現物賠償により行う。ただし、センター長が、現物賠償が不可能又は代物若しくは金銭による賠償が適当と判断する場合は、センター長の指定する代物又は相当の金銭を納めることにより行う。

(賠償免除)

第 33 条 センター長は、以下の場合で、やむを得ない事由があると認めるときは、所定の手続きを経てその責任を免除することができる。

- (1) 災害(火災、水害、地震等)による場合
- (2) 盗難にあった場合(警察に被害の届出をしたものに限る。)
- (3) その他センター長が認めた場合

(賠償完了)

第 34 条 賠償は、賠償図書の納入又は賠償金の支払いをもって完了するものとする。

2 賠償した者は、賠償完了後、いかなる不利益も蒙らないものとする。

(賠償後の図書等の取り扱い)

第 35 条 損害賠償が完了した場合、いかなる理由があっても賠償した図書又は賠償金の返還はしないものとする。

2 賠償完了後、賠償した者から申し出がある場合、汚損又は紛失した当該図書を譲渡することができる。

附 則

この規則は、2013 年 4 月 1 日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館文献複写要項

2013 年 4 月 1 日

学術情報センター長決定

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規則第23条に基づき、資料相互利用における図書館が受託する文献複写の手続きについて必要な事項を定めるものとする。

(複写の目的)

第2条 文献の複写は、教育又は研究の用に供することを目的とする場合に限り受託することができる。

2 文献の複写は、神戸市外国語大学学術情報センター図書館に所蔵する図書等について行うものとする。

(依頼の対象者)

第3条 文献の複写を依頼することができる者は、次の各号のいずれかに該当する機関又は施設の所有者又は管理者とする。

(1) 国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービス加入機関

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の大学又は高等専門学校に設置された図書館及びこれに類する施設

(3) 大学等における教育に類する教育を行う教育機関で当該教育を行うにつき学校教育法以外の法律に特別の規定があるものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)

(4) 学術の研究を目的とする研究所、試験所その他の施設で法令の規定によって設置されたものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)

(5) 図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館

(6) 学校図書館法(昭和28年法律第185号)第2条に規定する学校図書館

(7) 国立国会図書館法(昭和23年法律第5号)第1条に規定する国立国会図書館

(8) 文部科学大臣が小学校、中学校又は高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設に設置された図書館及びこれに類する施設

(9) その他学術情報センター長(以下「センター長」という。)が認めるもの

(複写の申込み)

第4条 文献の複写を依頼しようとする者は、申込書をセンター長に提出して、その承認を得なければならない。

2 センター長は、文献の種類によっては、前項の承認をしないことがある。

(複写料金の納付)

第5条 前条第1項の承認を得た者は、文献の複写料金を納付しなければならない。

2 文献の複写料金は、別表に規定する複写料及び複写物の送料を合算した額とする。

3 第3条第1項第1号に掲げるものについては、国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービスの規程により支払うものとする。

4 文献の複写料金を支払う者は、料金の額及び支払期限を厳守しなければならない。

5 納付された複写料金は、還付しない。

附 則

この要項は、2013年4月1日から施行する。

別表

種 別	色・大きさ	複写料
電子複写方式	モノクロ・A3判以下	35円
電子ジャーナル・CD-ROM等プリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円
マイクロフィルムプリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円

神戸市外国語大学学術情報センター市民利用制度実施要綱

2007年11月7日制定

2013年4月1日改正

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)の市民利用制度に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 この制度は、本学における教育又は研究に支障のない範囲での学術情報センターの利用を通じて、市民の生涯学習に貢献することを目的とする。

(利用資格)

第3条 この制度を利用できる者は、次の各号の一に該当する満18歳以上の者とする。ただし、大学受験のための利用者は除外する。

- (1) 神戸市内に居住する者
- (2) 神戸市内の事業所等に勤務する者
- (3) その他学術情報センター長が認めた者

(利用者登録)

第4条 この制度の利用を希望する者は、登録に必要な書類を添えて学術情報センター長(以下「センター長」という。)に申請しなければならない。

- 2 センター長は、申請者を適格と認めたときは、利用者を登録し、利用者カードを交付する。
- 3 利用者カードの有効期限は、交付日から1年とする。

(登録料)

第5条 この制度の利用を希望する者は、次の各号に該当する場合、登録料として500円を支払うものとする。

- (1) 利用者登録を行なう場合
- (2) 有効期限を超えて再登録する場合
- (3) 紛失又は破損等で利用者カードを再発行する場合

(利用期間)

第6条 この制度による利用可能日は、学術情報センター開館中の土曜日並びに夏季、冬季及び春季の休業期間とする。ただし、学術情報センター長が必要と認めた場合はこれを変更することがある。

(利用方法等)

第7条 この制度による利用者は、学術情報センター所蔵資料の館内閲覧、館外貸出(5冊以内かつ2週間以内)及び複写(有料)の各サービスが利用できる。

- 2 その他の資料の利用及び関係諸施設・設備の利用については、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(2007年4月規程第104号)による。

(雑則)

第8条 この制度について、この要項に定めのない事項については、学術情報センターの諸規定を準用する。

附 則

この要綱は、2007年12月1日から施行する。

附 則

この要綱は、2013年4月1日から施行する。

5) 沿革

年	月	
1949	2	神戸市外国語大学開設が認可される
1951	7	図書館規程の制定
1956	5	図書館建設工事に着工
1958	5	図書館創設
1959	4	図書館落成記念式典
1968	4	書庫を2層に増築
1970	4	開架図書室の新設
	4	ラトビア共和国科学アカデミー基礎図書館と図書交換協定を締結
	7	市民開放の実施
	11	図書館実態調査の実施
1971	9	中村文庫の設置
		○ 提案箱設置、希望図書制度の実施
1972	7	図書館実態調査報告書発行
	9	三木記念会より「三木記念文庫」設置の申し出あり
1974	1	外大図書館長選考規程制定
	9	図書館運営委員会に「神戸市外国語大学図書館改善要項」を提示
1975	10	紀要等大学刊行物が研究所から図書館に移管、開架室での利用開始
1976	12	大学移転計画発表
		○ アフロ・アメリカ黒人文庫設置
		○ 団文庫設置
1977		○ 打田文庫設置
1978		○ 天津外国語学院との図書交換開始
1981	2	「総合計画委員会」の第二分科会において大学移転に伴う図書館棟の検討が開始
1983	11	上海外国語学院との図書交換開始
1985	1	図書館竣工
1986	2	「外大図書館規程」「外大図書館利用規程」「外大図書館運営委員会規程」制定
	4	「図書館利用規程」の改正 貸出冊数制限の緩和、利用可能資料の増加
	7	南開大学と図書交換に関する協定締結が承認
1987	7	図書館の市民開放を再開
1988	11	電算機導入準備委員会が「電算機システム導入に関する調査報告書」提出
1989		楠ヶ丘文庫設置
1990	4	「神戸研究学園都市大学連絡協議会」にて「図書館部会」の設置が決定
	8	BDS 導入
1991	9	図書館報「AD ALTIORA SEMPER」創刊
	9	「神戸研究学園都市大学連絡協議会図書館部会の発足
	10	「島尾敏雄文学展」と記念講演会「島尾敏雄と神戸」の開催
1992	8	森田文庫設置
1993	6	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」発足
1994	3	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」から調査報告書提出
	3	「打田文庫目録」第1冊刊行
	4	図書館業務電算化の基本調査に着手
	4	ハンガリー科学アカデミー図書館との雑誌交換開始
1995	1	阪神淡路大震災発生
	2	図書館利用再開
	3	学内 LAN 敷設
	10	図書館業務の電算化 「図書館利用規程」改正
	10	「学内 LAN 運営規程」制定
1995	12	学内 LAN 利用の開始
	12	学術情報センターILL（図書館間相互貸借）に加盟
1995		○ CD-ROM 提供開始
1997	4	土曜日の利用時間が13時-21時から10時-17時に変更
1997		○ WWW 利用可能マシンの設置

- 1998 1 雑誌検索マシンの設置
- 1998 ○ キーワード検索マシンの設置
- 2000 4 職制改正により、研究所の視聴覚教育係と統合し「図書館情報管理サービス係」となる
- 2001 1 「神戸市図書館情報ネットワークシステム」システム更新
- 1 NACSIS 新 CAT 対応、インターネット・携帯電話からの蔵書検索が可能に
- 2001 6 神戸市内の公共図書館との相互貸借サービス開始
- 地方自治情報センターから「地方公共団体優秀情報処理システム」として表彰される
- 2002 5 OPAC による予約受付開始
- 10 秋季図書館ガイダンスの実施
- 「よくある質問」の配布開始
- 2003 ○ 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書館利用が教員・院生で開始される
- 2004 10 洋雑誌のオンライン版（オンラインジャーナル）の提供開始
- 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書館利用が学生にも拡大される
- 2005 4 閲覧席 40 席増設
- 6 ILL メール通知サービス開始
- 2006 1 新図書館業務クライアント、OPAC 稼動 WebOPAC 予約可能に
- 3 入退館システム導入
- 4 図書館の組織変更「学術情報係」「情報メディア係」の 2 係に
- 12 「司書のおすすめ」開始
- 2007 4 「学術情報センター」に改称
- 11 ILL 相殺システムに参加
- 12 利用を拡充した「図書館市民利用制度」の開始
- 2008 2 空調設備改修
- 4 パスファインダー「infosheet」発行
- 8 閲覧室拡張工事開始
- 2009 4 土曜日の利用時間が 18 時まで延長
- 4 閲覧室増築工事完成 閲覧席増設 視聴覚ブース移設完成
- 6 ゼミガイダンスの開始
- 6 図書館 Web サイトのリニューアル
- 2010 4 学術情報部会の設置
- 7 館報 32 号よりリニューアル発行
- 年次報告発行
- 2011 3 第 2 閲覧室 1 階に無線 LAN 敷設 ノートパソコン 24 台、プリンタ 3 台配置
- 3 小西文庫設置
- 10 ビブリオバトル開催
- 11 選書ツアー センター長懇談会実施
- 11 機関リポジトリ設置について教授会で承認
- 12 NII に JAIRO Cloud の利用を申請し承認される
- 2012 1 リポジトリワークショップ開催
- 2 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」が教授会で承認
- 2 第 2 閲覧室 1 階にノートパソコン 8 台、プリンタ 1 台追加。パソコン 32 台、プリンタ 4 台に
- 3 BDS、入退館ゲート入れ替え
- 4 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」施行
- 5 JAIRO Cloud によるリポジトリ構築開始
- 6 書庫 2 階現代中国語資料のデータ遡及事業
- 8 CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」（領域 1）受託
- 8 リポジトリ試験公開開始
- 10 初年次教育（図書館の使い方）実施
- 11 Re ユース実施
- 11 来館者アンケート実施
- 2013 3 製本新聞の保管庫（本部棟地下）新設

6) センター長(図書館長)

氏名	任期	氏名	任期
図書館長		20 高原 脩	1991. 4. 1～1994. 3.31
1 寺沢 智了 (文部事務官)	1949. 4. 1～1952. 5.30	21 北畠 霞	1994. 4. 1～1997. 3.31
2 小川 佐太郎	1952. 6. 1～1953. 9.30	22 原田 松三郎	1997. 4. 1～2000. 3.31
3 山下 修	1953.10. 1～1955. 9.30	23 大塚 秀之	2000. 4. 1～2003. 3.31
4 岩井 茂	1955.10. 1～1957. 9.30	24 佐藤 晴彦	2003. 4. 1～2006. 3.31
5 本田 実	1957.10. 1～1959. 9.30	25 近藤 義晴	2006. 4. 1～2007. 3.31
6 山本 守	1959.10. 1～1961. 9.30	学術情報センター長	
7 久保 二郎	1961.10. 1～1963. 9.30	26 益岡 隆志	2007. 4. 1～2010. 3.31
8 川崎 武夫	1963.10. 1～1965. 9.30	27 和田 四郎	2010. 4. 1～2011. 3.31
9 沢井 澄	1965.10. 1～1967. 9.30	28 益岡 隆志	2011. 4. 1～
10 本多 三七	1967.10. 1～1969. 9.30		
11 林 雪光 (館長職務代行)	1969.10. 1～1970. 6. 6		
12 木村 保重 (館長職務代行)	1970. 6.7～1972.10.31		
13 貫名 美隆	1972.11. 1～1974. 3.31		
14 貫名 美隆	1974. 4. 3～1977. 3.31		
15 大芝 孝	1977. 4. 1～1980. 3.31		
16 小西 友七	1980. 4. 1～1983. 3.31		
17 赤松 光雄	1983. 4. 1～1986. 3.31		
18 蔵中 進	1986. 4. 1～1989. 3.31		
19 赤松 光雄	1989. 4. 1～1991. 3.31		

神戸市外国語大学学術情報センター

活動報告 2012 年度

2013 年 7 月 1 日 発行

神戸市外国語大学学術情報センターグループ